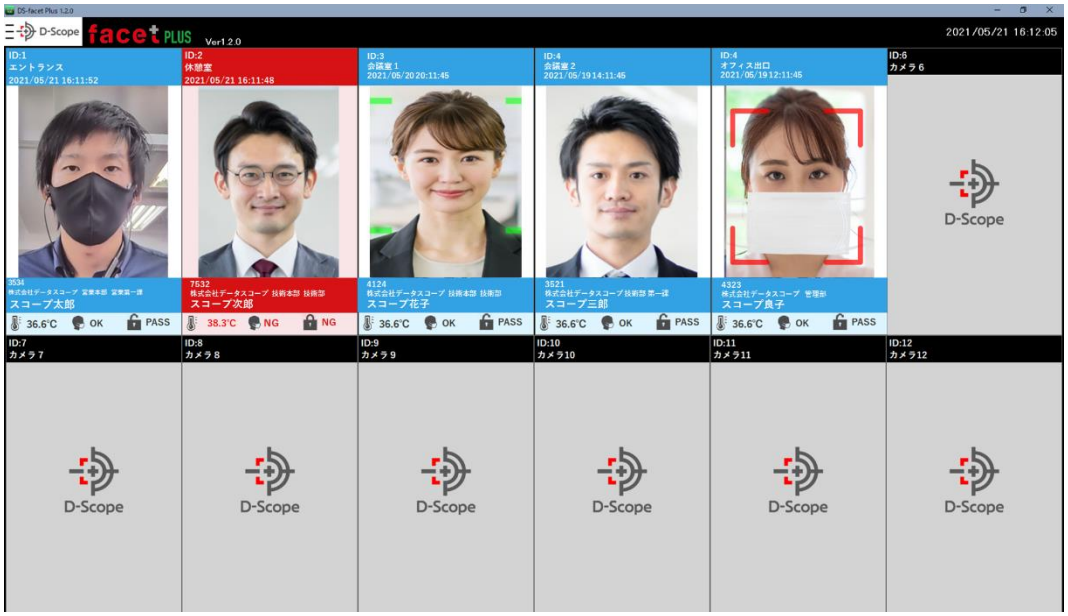
Windows 用 FaceFC 監視・通知アプリケーション

facet PLUS Windows 版

設定・操作マニュアル

第 3.0 版



D-Scope

© 2021 DataScope inc.

更新履歴

2020.09.14　第 1.0 版リリース

2021.02.03　第 2.0 版リリース

2021.05.31　第 3.0 版リリース

© 2021 DataScope inc.

目次

1. はじめに 4
1.1 本書について 4
1.2 「Facet Plus(旧 FeverCheckerPlus)」とは 4
1.3 Web 管理ツール(基本ソフト)との併用について 5
1.4 FaceFC の FW ver について 5
1.5 動作環境 6
2. ご利用前の WindowsPC 設定確認 6
2.1 画面サイズ・拡大率の変更 6
2.2 スリープモードの解除 7
3. インストールの方法 8
3.1 はじめて PC にインストールする場合 8
3.2 ライセンスキーを入力する 11
3.3 バージョンアップを行う場合 11
4. Facet Plus と FaceFC を接続する 13
4.1 FaceFC にログインする 13
4.2 ログインできないときのポイントメモ 15
5. ダッシュボードの機能説明 16
5.1 ダッシュボード画面への移動 16
5.2 認証結果のリアルタイム表示 16
5.3 認証結果枠の説明 17
5.4 シングルカメラモードへの移動 18
5.5 【シングルカメラモード】ライブビュー画面 18
5.6 【シングルカメラモード】リアルタイム認証結果の確認 19
5.7 【シングルカメラモード】過去の認証結果の確認 19
5.8 【シングルカメラモード】ログ一覧の項目説明 20
6. ログ一覧の機能説明 21
6.1 ログ一覧画面への移動 21
6.2 カメラ選択によるログの絞り込み表示 22
6.3 ログ一覧表示およびログの絞り込み機能 22
6.4 ログの csv 出力と認証時画像の出力 24
6.5 未登録者の認証時画像からのユーザ登録(複数カメラ一括操作) 25
6.6 ログ全件削除機能 27
7. ユーザ登録管理の機能説明 28
7.1 ユーザ登録管理画面への移動 28
7.2 カメラの選択とユーザ登録情報の表示 28
7.3 ユーザ登録情報の昇順/降順並べ替え 29
7.4 ユーザ登録情報の修正(複数カメラ一括操作) 29

7.5 ユーザ登録情報の削除(複数カメラ一括操作) 31
7.6 ユーザ登録情報の新規追加(複数カメラ一括操作) 32
7.7 ユーザ登録情報の一括出力 34
7.8 ユーザ登録情報の一括登録(複数カメラ一括操作) 35
7.9 ユーザグループ機能の説明と注意点 37
7.10 ユーザグループの作成・編集 38
7.11 ユーザグループの csv 登録 39
7.12 ユーザグループの割当 39
7.13 ユーザグループ情報割当の csv 一括登録 40
7.14 ユーザグループ情報割当の csv 一括出力 41
8. 端末設定の説明 42
8.1 端末設定画面への移動 42
8.2 ダッシュボードの設定 43
8.3 デバイス・システム管理 45
8.4 温度測定の設定 46
8.5 ディスプレイ(ロゴ画像)の変更 47
8.6 音声ガイドの設定 48
8.7 アラートメールの設定 49
8.8 ログイン時のパスワード設定 50
8.9 ラベルプリンタ 連携機能 51
8.10 警告灯 連携機能 56
8.11 ログのバッチ出力機能 60
9. こんなときは… 63
9.1 フリーズする。動作が重くなる。 63
9.2 FaceFC との接続ができない 63
9.3 特定の異常時だけ音声を出したい 63
9.4 音声が出ない 63
9.5 登録したブラックリストユーザを確認できない 64

© 2021 DataScope inc.

1. はじめに

1.1 本書について

本書は FaceFC 専用(製番：STD-TTCX1100 /STD-5MA071-E)の Windows 用 監視・通知アプリケーション「facet Plus Windows 版」の操作・設定マニュアルです。記載される機能・内容については、「Facet Plus ver1.2.0」を基に記載しております。FaceFC の機能説明については、「温度検知、顔認証デバイス操作説明書」を参照することがあります。お手元に「温度検知、顔認証デバイス操作説明書」をご用意して確認ください。

また本書は Facet Plus (12 台管理用)の UI イメージにて構成されておりますが、他の Facet Plus アプリケーション(2,4,6,8,10 台管理用)においても、使用・操作方法は同様となります。(2,4,6,8,10,12 台の管理台数はライセンスキーによって切り替えます)

1.2 「Facet Plus (旧 FeverCheckerPlus)」とは

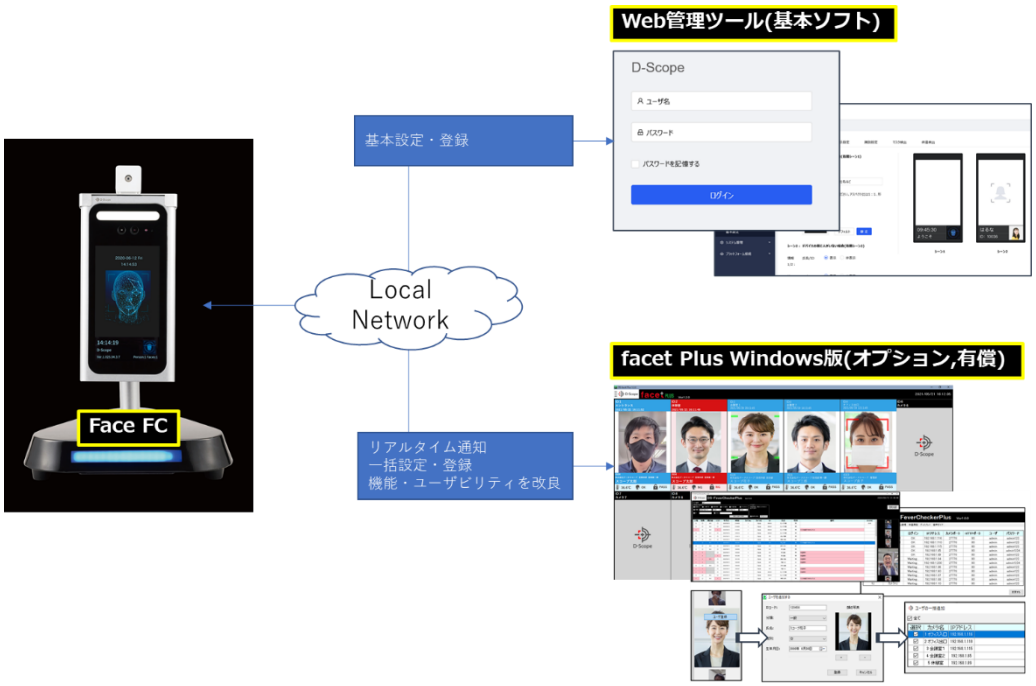
Facet Plus とは、FaceFC の認証状況をリアルタイムで確認できる Windows 用の有償アプリケーションです。ver 1.2.0 より Fever Checker Plus から facet Plus に名称変更いたしました。

FaceFC がネットワークに接続されていれば、離れた場所(警備室・オフィスなど)から FaceFC の認証状況・異常有無をリアルタイムで確認することができます。また、Fever Checker は 1 PC につき 1 台の FaceFC を管理できましたが、Facet Plus では最大 12 台まで管理が可能です。

加えて、Web 管理ツール(基本ソフト)で設定・確認できる一部機能 (ログ検索/ユーザ登録)のユーザビリティ改善および複数カメラへの一括登録・管理が可能です。プリンタや警告灯などの外部機器連動や、ログのバッチ出力、ユーザグループ管理やメール送信などの機能も充実しています。

1.3　Web 管理ツール(基本ソフト)との併用について

Facet Plus は FaceFC のリアルタイム認証状況確認、および一部の設定機能のユーザビリティを改良したアプリケーションです。FaceFC をご使用していただくための基本登録・設定(ディスプレイ表示設定や温度閾値設定など)は、従来通り Web 管理ツールをご利用ください。



1.4　FaceFC の FW ver について

必ず FaceFC V1.396.11.58T 以上の FW にてご利用ください。古い FaceFC の FW ver にてご使用されると、本マニュアルに記載される操作が正常に機能しないことがございます。
予め FaceFC の FW バージョンを確認して、V1.396.11.58T 以上でない場合は、FaceFC の FW を最新版にアップデートしてください。

© 2021 DataScope inc.

1.5　動作環境

本アプリケーションの動作条件は、下記 PC スペックとなります。

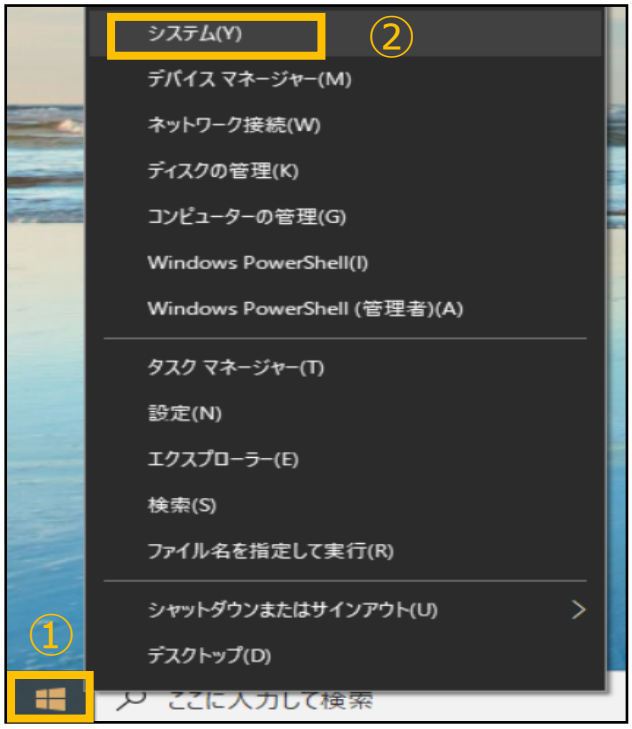
画面サイズ：1920x1080、拡大率 100%または 125%　※
CPU：　スコア 1000 以上
https://www.cpubenchmark.net/midlow_range_cpus.html
HDD：　SSD を推奨
メモリ：4GB 以上
OS：　Windows10/Home 以上
I/F：　カメラとの LAN 接続(無線/Ethernet 100Mbps 以上)

※画面サイズ：1920x1080、拡大率 100%/125%以外の設定でもアプリケーションは動作することが可能ですが、画面の表示崩れやボタンが押せないなどの不具合が発生する可能性がございます。あらかじめご了承ください。

2. ご利用前の WindowsPC 設定確認

2.1　画面サイズ・拡大率の変更

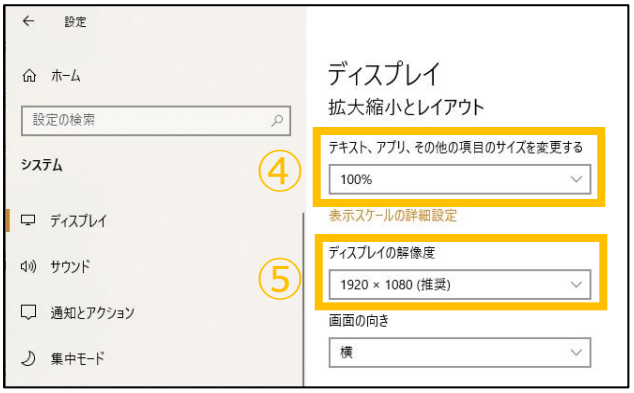
「1.4 動作環境」にも記載の通り、本アプリケーションがサポートする画面サイズは 1920x1080 です。画面サイズの確認・変更は以下の手順で行います。



①左下の「Windows マーク」を右クリックして、設定ウィンドウを表示させます

②「システム」をクリックします

③「システム」をクリックします。



④「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」を 100%もしくは 125%に変更してください。

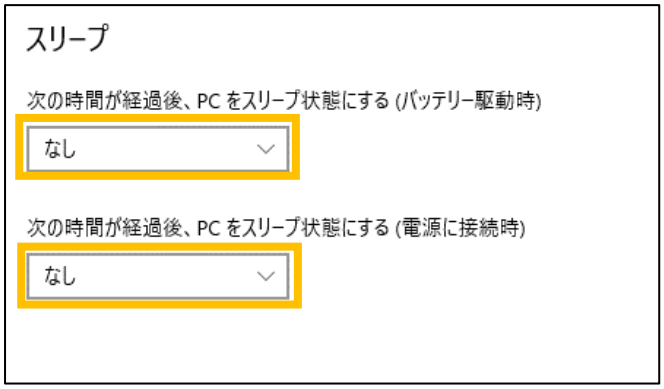
⑤「ディスプレイの解像度」を 1920×1080 に変更してください。

2.2　スリープモードの解除

facet Plus を常時稼働させておきたい場合は、Windows のスリープ設定(無操作が続くと自動的にスリープモードに移行)を OFF にする必要があります。

①システムを起動して(手順 2.1①~③参照)、「電源とスリープ」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.



②スリープ状態にするを「なし」に設定します。

3. インストールの方法

Facet Plus をお使いの PC にインストールする手順です。

3.1　はじめて PC にインストールする場合

①「DS-F-Plus_Release ver x.xx .zip」※1 をダブルクリック、もしくは右クリックで「解凍」→「デスクトップに解凍」を選び、zip ファイルの解凍を行います。

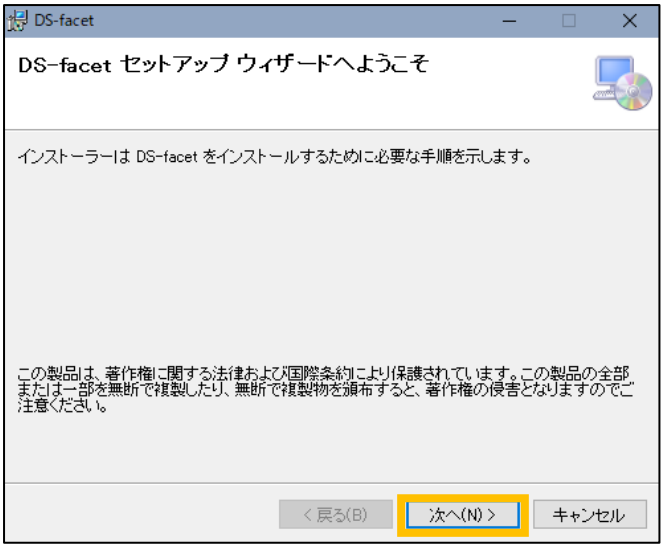
※1：　x.xx はバージョン番号を指します。ご利用の時期により異なります。(2021/2/3 時点の最新版は ver1.1.1 です)

※2：　デスクトップに「Release」という名前のフォルダが既に存在する場合は解凍が正常に行われません。既に Release フォルダが存在する場合は、Release フォルダを別フォルダに移動させるなど対処したあとに(デスクトップに Release フォルダが無い状態で)、解凍してください。

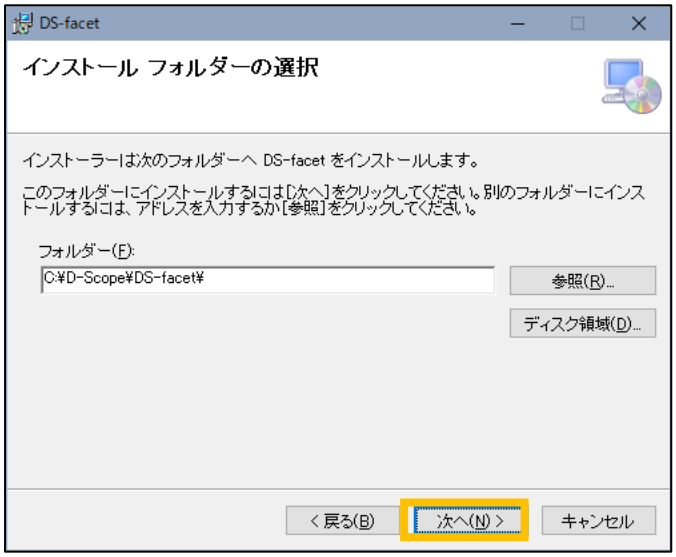
②「facetPlusSetup_xxxxxxxx_xxxxx.msi」をダブルクリックして実行します。

※1：　xxxxxxxx_xxxxx はリリース日付を指します。ご利用の時期により異なります。(2021/5/30 時点の最新版は ver1.2.0 です)

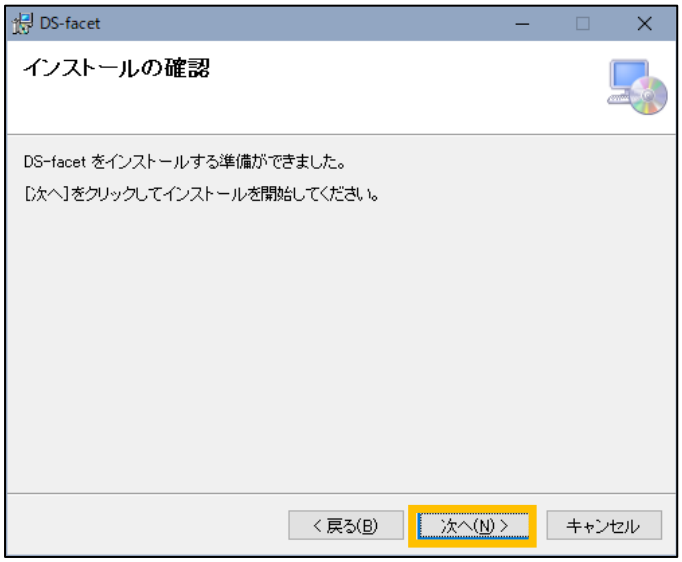
③「ユーザカウント制御　この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されますので、「はい」をクリックします。



④「DS-Facet セッアップウィザードへようこそ」の画面で、「次へ」をクリックします。



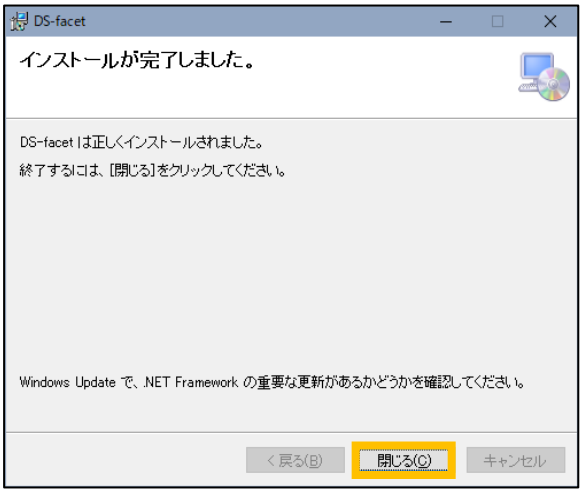
⑤インストールフォルダの選択を行います。
変更する場合は、「参照」ボタンをクリックしてフォルダの変更を行ってください。
特に変更する必要が無い場合は、「次へ」を押してください。



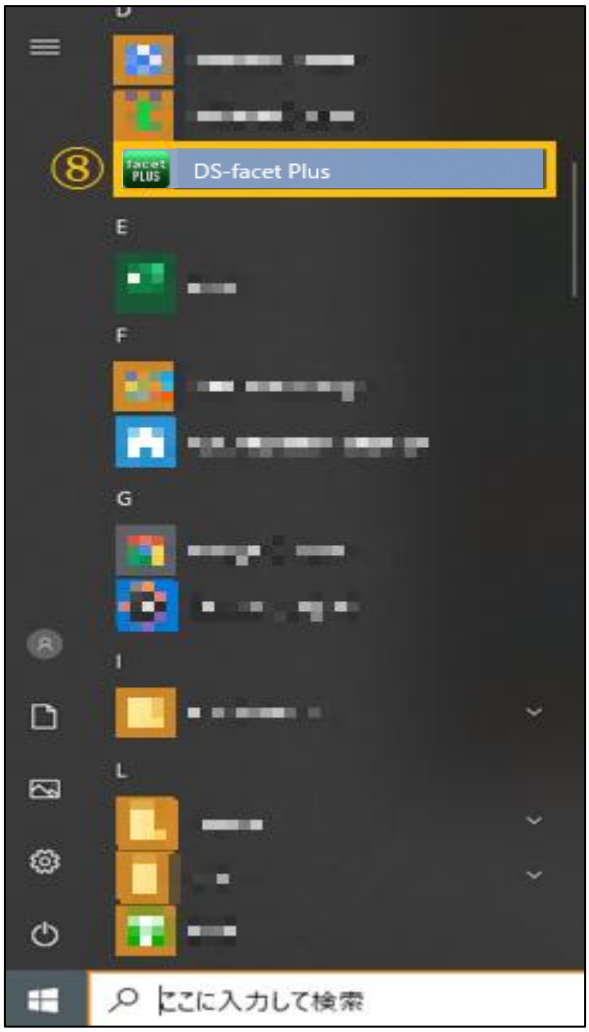
⑥「インストールの確認」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.

⑥「ユーザカウント制御　この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」の画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

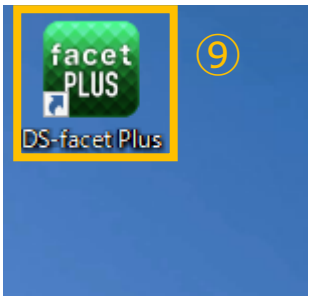


⑦「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら、「閉じる」をクリックします。



⑧左下の「Windows マーク」を押して、「DS-Facet Plus」が存在することを確認ください。

⑨デスクトップ上に「DS-Facet Plus」のアイコンが存在することを確認ください。



3.2　ライセンスキーを入力する

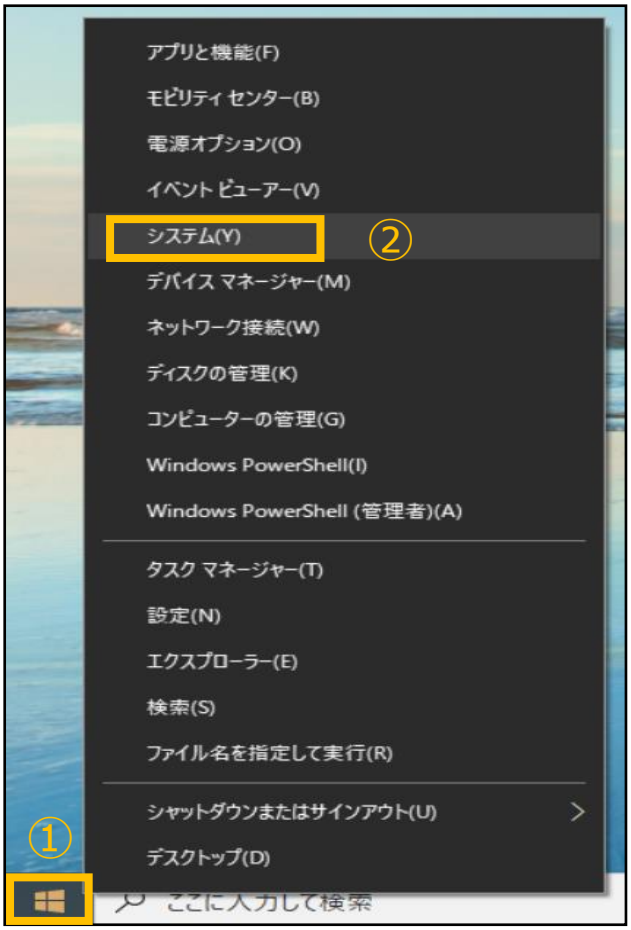
左下 Windows ボタン、もしくはデスクトップのショートカット(手順 3.1 ⑧, ⑨参照)から Facet Plus を起動してください。初回起動時はライセンスキーの入力が必要になります。ライセンス証書に記載される「お客さま番号」を記載してください。

ライセンスキーの入力は、ご利用の PC で Facet Plus を初めて起動したとき 1 回のみとなります。その後のアプリ起動時・バージョンアップ時の入力は不要です。

3.3　バージョンアップを行う場合

※ 新 ver がリリースされた場合のみ実施ください

Facet Plus の新 ver がリリースされた場合は、旧 ver の Facet Plus((もしくは FeverCheckerPlus))をアンインストールしてから、新 ver の Facet Plus をインストールする必要があります。下記にアンインストールの手順を記載しますので、アンインストールを実施してから、手順 3.1 にて、新 ver のインストールを実施してください。



①左下の「Windows マーク」を右クリックして、設定ウィンドウを表示させます
②「システム」をクリックします

© 2021 DataScope inc.

③「アプリ」をクリックします。

④DS-Facet Plus(もしくは DS-FeverCheckerPlus)を選択して、「アンインストール」をクリックします。

⑤確認画面が出ますので、「アンインストール」をクリックします。

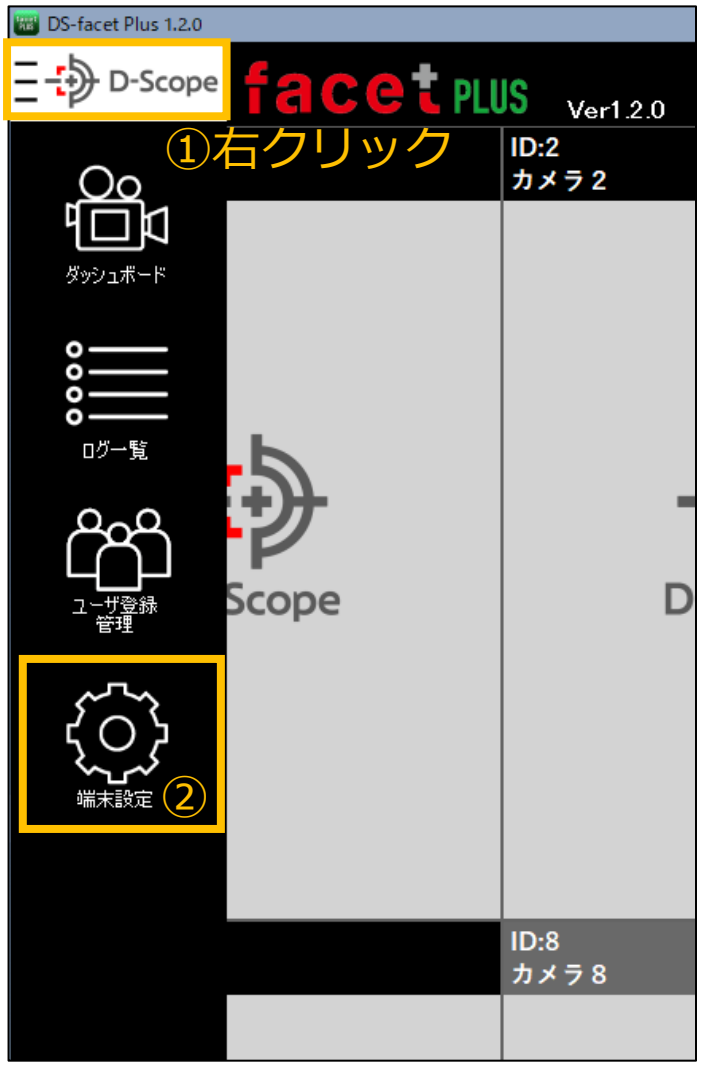
⑥「ユーザカウント制御　この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されますので、「はい」をクリックします。

以上でアンインストールは完了です。
手順 3.1 にて、新 ver のインストールを実施してください。

4. Facet Plus と FaceFC を接続する

4.1　FaceFC にログインする

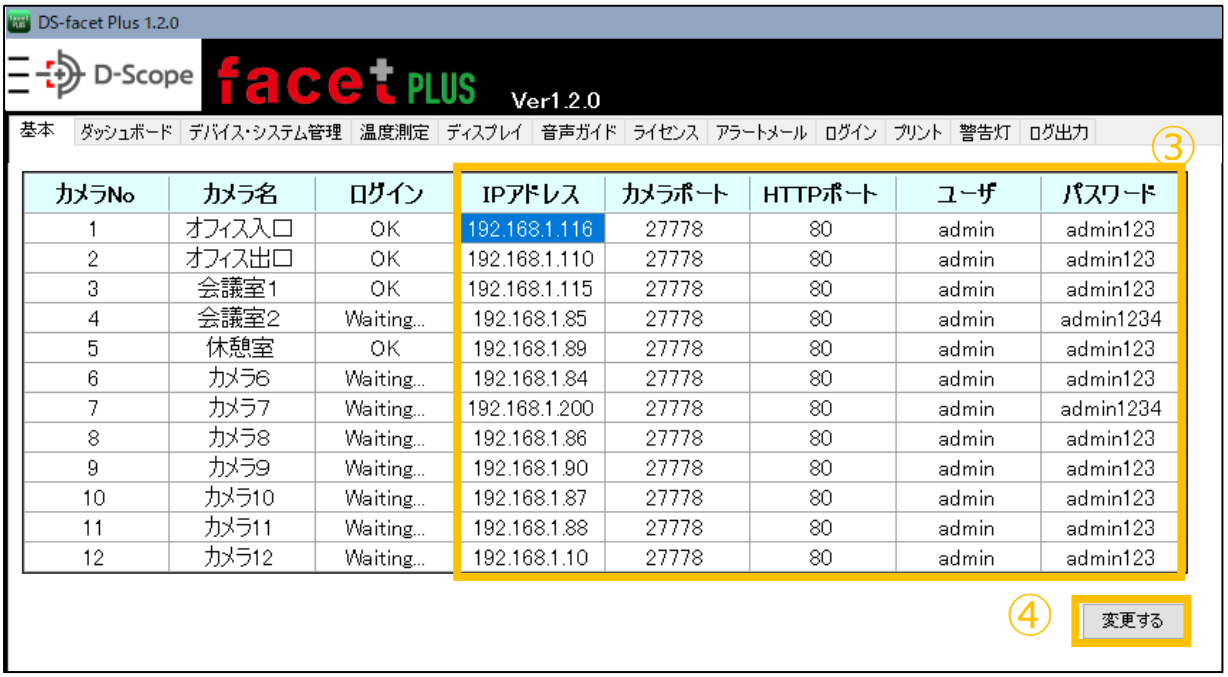
以降の手順・説明は Facet Plus のアプリを起動した状態での説明となります。左下 Windows ボタン、もしくはデスクトップのショートカットから Facet Plus を起動してください。(手順 3.1 ⑧, ⑨参照)



① 左上の「D-Scope」ロゴを**右クリック**して、
メニューを表示させます。

②「端末設定」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.



カメラNo	カメラ名	ログイン	IPアドレス	カメラポート	HTTPポート	ユーザ	パスワード
1	オフィス入口	OK	192.168.1.116	27778	80	admin	admin123
2	オフィス出口	OK	192.168.1.110	27778	80	admin	admin123
3	会議室1	OK	192.168.1.115	27778	80	admin	admin123
4	会議室2	Waiting...	192.168.1.85	27778	80	admin	admin1234
5	休憩室	OK	192.168.1.89	27778	80	admin	admin123
6	カメラ6	Waiting...	192.168.1.84	27778	80	admin	admin123
7	カメラ7	Waiting...	192.168.1.200	27778	80	admin	admin1234
8	カメラ8	Waiting...	192.168.1.86	27778	80	admin	admin123
9	カメラ9	Waiting...	192.168.1.90	27778	80	admin	admin123
10	カメラ10	Waiting...	192.168.1.87	27778	80	admin	admin123
11	カメラ11	Waiting...	192.168.1.88	27778	80	admin	admin123
12	カメラ12	Waiting...	192.168.1.10	27778	80	admin	admin123

③「基本」タブにて、接続する FaceFC の IP アドレス、ユーザ名、パスワードを入力します。カーソルを合わせて、2 回クリックすることで編集可能になります。

※カメラポート、HTTP ポートは通常使用では変更されません。特段変更を行ってない場合はデフォルトの設定値をそのまま使用ください。

④「変更する」をクリックします。

カメラNo	カメラ名	ログイン ⑤	IPアドレス	カメラポート	HTTPポート	ユーザ	パスワード
1	オフィス入口	OK	192.168.1.116	27778	80	admin	admin123
2	オフィス出口	OK	192.168.1.110	27778	80	admin	admin123
3	会議室1	OK	192.168.1.115	27778	80	admin	admin123

⑤ログイン「OK」となっていれば、ログイン成功です。

カメラNo	カメラ名⑥
1	オフィス入口
2	オフィス出口
3	会議室1
4	会議室2
5	休憩室
6	カメラ6
7	カメラ7
8	カメラ8
9	カメラ9
10	カメラ10
11	カメラ11
12	カメラ12

⑥必要に応じて、「カメラ名」を任意の名前に変更します。こちらで変更した名前が、ダッシュボードや一括登録・管理のカメラ選択にて表示されます。

　設置場所・使用用途などの名前に変更すると、管理がしやすくなります。

4.2　ログインできないときのポイントメモ

ログインできないときは(「Waiting」のまま)、下記手順を参考に切り分けをしてください。

① IE(Internet Explorer)で、Facet Plus で入力されている FaceFC の IP を入力・アクセスする。

▼Facet Plus

6	カメラ6	Waiting...	192.168.1.64
7	カメラ7	Waiting...	192.168.1.200
8	カメラ8	Waiting...	192.168.1.86
9	カメラ9	Waiting...	192.168.1.90

▼Internet Explorer

②’ Web 管理ツールにアクセスできる場合

Facet Plus に入力している、ユーザ名・パスワードが間違っている可能性があります。ユーザ名・パスワードを再度確認のうえ、入力してください。

※Web 管理ツールに Facet Plus で入力している、ユーザ名・パスワードを入力してログインできない場合は、間違っています。

②’’ Web 管理ツールにアクセスできない場合

下記の理由が考えられますので、確認をしてください。

1．Facet Plus で入力している FaceFC の IP アドレスが間違っている。

2．PC と FaceFC が同じネットワークに接続されていない。

3．PC もしくは FaceFC が同じネットワークになるような IP 設定がされていない。

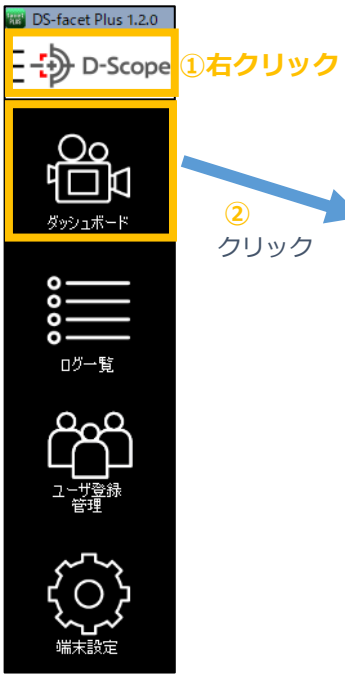
※温度検知、顔認証デバイス操作説明書 第1版 2.1「TCP/IP の設定」、6.1「ネットワーク設定(TCP/IP)」を参考に確認・変更してください

© 2021 DataScope inc.

5. ダッシュボードの機能説明

5.1　ダッシュボード画面への移動

▼左メニュー



②
クリック

▼ダッシュボード画面

①. 左上の「D-Scope」ロゴを**右クリック**して、メニューを表示させます。

②. 「ダッシュボード」をクリックします。

③. ダッシュボード画面に遷移します。

5.2　認証結果のリアルタイム表示

FaceFC で認証が行われると、該当のカメラ枠に、認証画像と認証結果がリアルタイムで表示されます。認証されるたびに、最新の認証結果に更新されます。認証が正常なときは青枠で表示、異常なときは赤枠でアラート表示します。また音声による認証結果通知にも対応しています。

※アラート判定の設定は、手順 8.2 にてカスタマイズ可能です。

※音声による認証結果通知は、手順 8.6 にてカスタマイズ可能です。

5.3　認証結果枠の説明

①. カメラ番号を表示します。
②. カメラ名を表示されます。　※1
③. 認証時間を表示します
④. 登録者の場合は、ユーザ ID が表示されます。
⑤. 登録者の場合は、グループ名が表氏されます。　※2
⑥. 登録者の場合は、認証した人物の「氏名」を表示します。
⑦. 計測温度、マスク有無、開錠結果を通知します。

※1 カメラ名は「端末設定」→「カメラ名」にて変更可能です。(手順 4-1⑥参照)
※2 グループ機能については、手順 7.9 を参照ください。
※3 各項目の表示/非表示については、「端末設定」→「ダッシュボード」(手順 8.2 参照)にて設定可能です。

© 2021 DataScope inc.

5.4　シングルカメラモードへの移動

▼ダッシュボード

▼シングルカメラモード画面

認証結果枠をクリックすることで、クリックしたカメラのシングルカメラモード(手順 5.5 以降に説明)に遷移します。シングルカメラモードから、ダッシュボード画面に戻るには、シングルカメラモードの左上の「戻る」ボタンをクリックします。

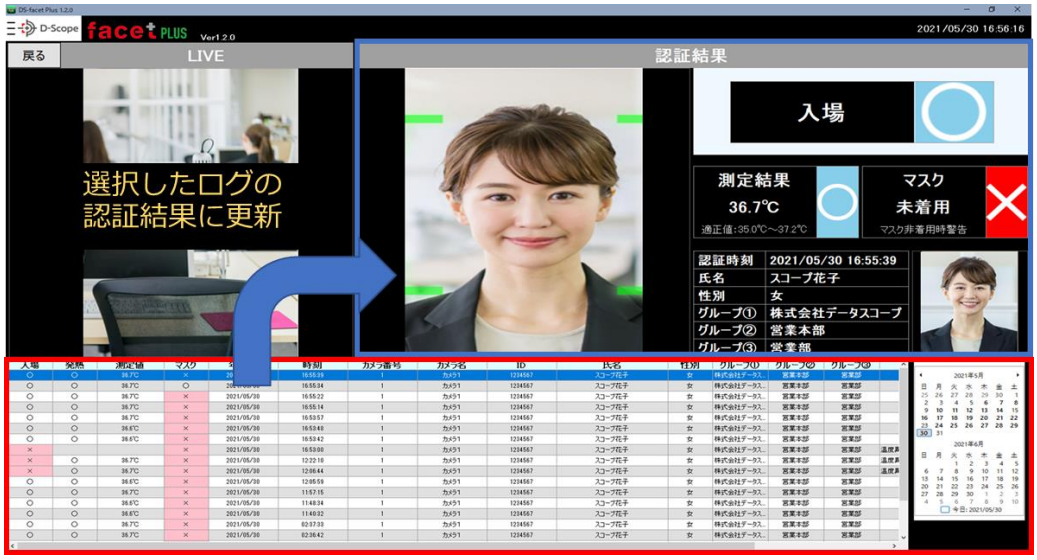
5.5　【シングルカメラモード】ライブビュー画面

画面左側の枠に、FaceFC のカメラにて撮影されるライブ映像が表示されます。

5.6 【シングルカメラモード】リアルタイム認証結果の確認

画面右側の枠には、認証結果が表示されます。認証が行われるとリアルタイムで、認証時の画像と認証結果が更新されます。

5.7 【シングルカメラモード】過去の認証結果の確認



画面下側の枠には、当日分のログの一覧が表示されます。右のカレンダーから日付を選択することで、選択された日付のログ一覧を赤枠リスト上に表示することができます。

ログをクリックすると、選択されたログの認証結果が画面右側に表示されます。

© 2021 DataScope inc.

5.8　【シングルカメラモード】ログ一覧の項目説明

　ログ一覧で表示される項目の説明は以下の通りです。下部のバーをスクロールすることで、表示されない項目も確認することができます。

・入場

ゲート判定にて Open となった場合は「〇」になります。

※ゲートの判定条件は Web 管理ツールにて設定を行います。

・発熱

温度測定値が正常温度範囲を超えた場合に「×」になります。

※正常温度範囲の設定は Web 管理ツールにて設定を行います。

・測定値

温度測定値が表示されます。

・マスク

マスクを装着している場合は「〇」、されていない場合は「×」になります。

・年月日

認証時の年月日を表示します。

・時刻

認証時の時刻を表示します。

・シリアル番号

ログインしている FaceFC(カメラ)のシリアル番号を表示します。

・ID

認証されたユーザの ID が表示されます。

※登録ユーザの顔認証成功時のみ表示されます。

・氏名

認証されたユーザの氏名が表示されます。

※登録ユーザの顔認証成功時のみ表示されます。

・性別

認証されたユーザの性別が表示されます。

※登録ユーザの顔認証成功時のみ表示されます。

・グループ①、②、③

認証されたユーザのグループ情報が表示されます。

※登録ユーザの顔認証成功時のみ表示されます。グループ機能については手順 7.9 を確認ください。

・備考

NG 理由(ブラックリスト、マスクを確認できましたなど)が記載されます。

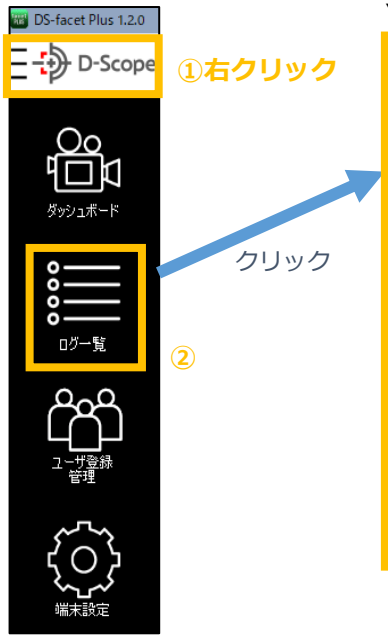
・SCORE

顔認証の SCORE が表示されます。FaceFC が登録者/未登録者を判定する際のマッチ率となります。こちらの値が、認識比較閾値(Web 管理ツールで設定)を超えた場合に登録者の判定がされます。

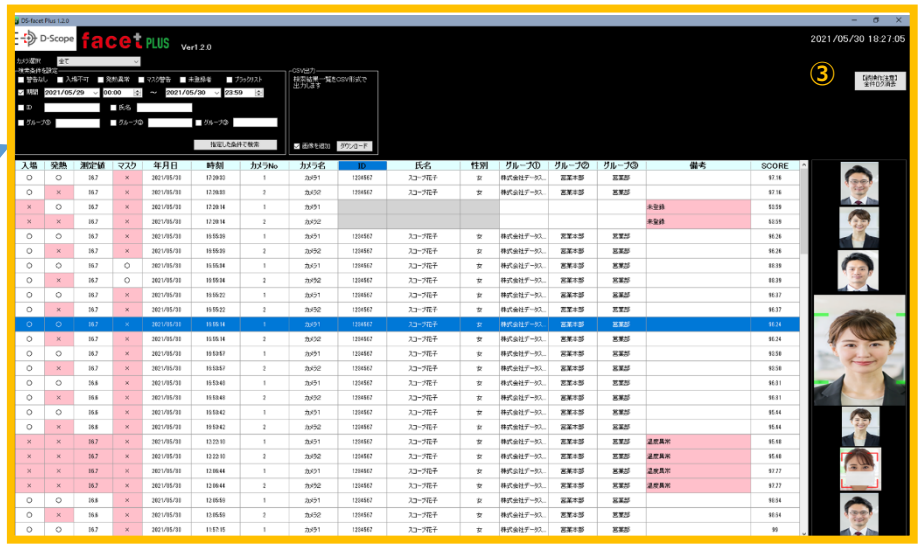
6. ログ一覧の機能説明

6.1　ログ一覧画面への移動

▼左メニュー



▼ログ一覧画面



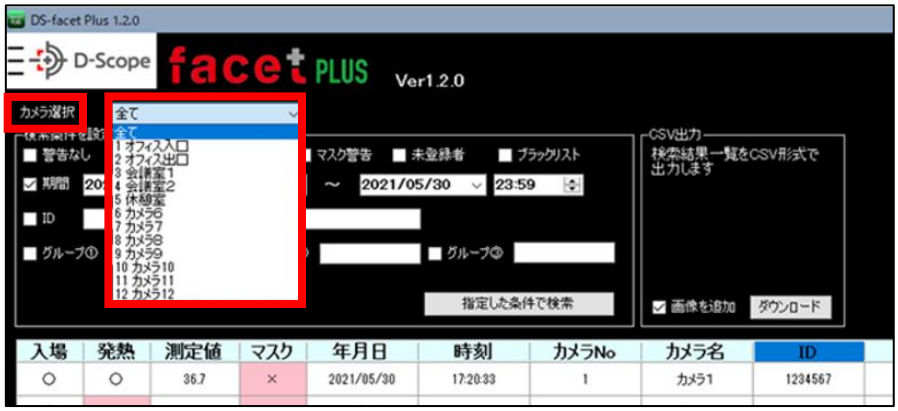
① 左上の「D-Scope」ロゴを右クリックして、メニューを表示させます。

②「ログ一覧」をクリックします。

③ログ一覧画面に遷移します。

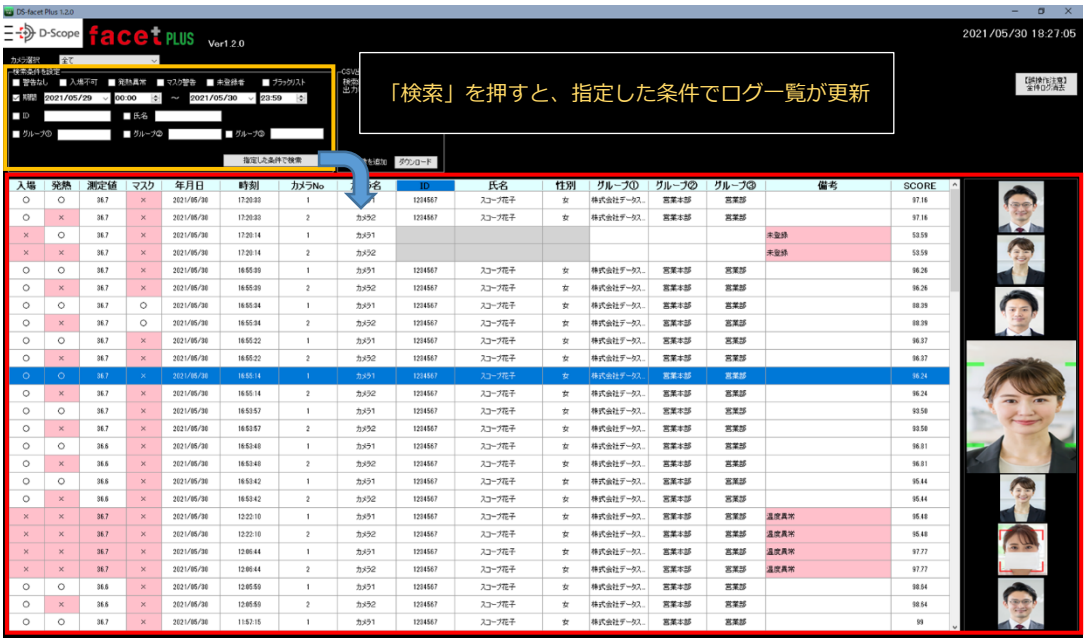
© 2021 DataScope inc.

6.2　カメラ選択によるログの絞り込み表示



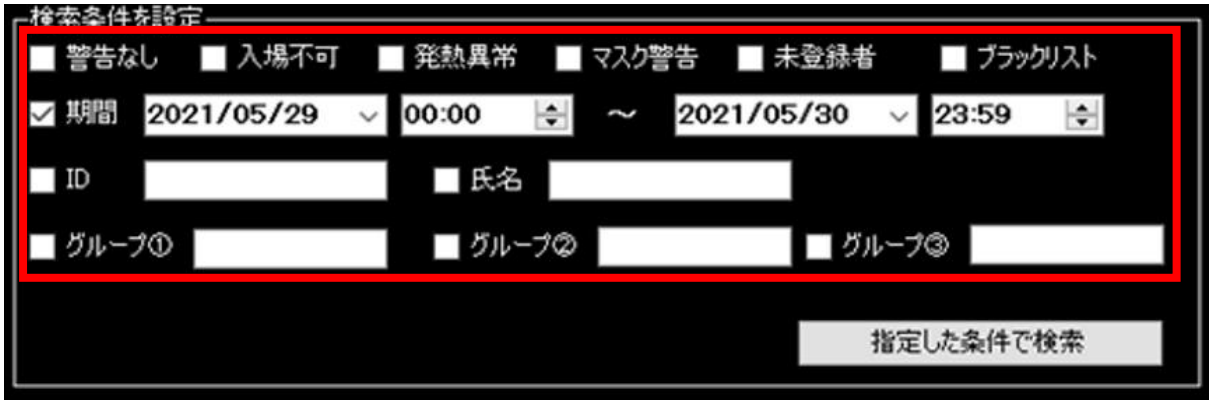
左上にある「カメラ選択」から、カメラを選択することによって、該当カメラのログ結果のみ表示することが可能です。

6.3　ログ一覧表示およびログの絞り込み機能



上図の赤枠にログ一覧が表示されます。ログ一覧で表示されるデータ項目はダッシュボードと同様です。右部には選択したログの認証時画像、上下には前後 3 つの認証時画像が表示されます。

上図の黄色枠でログ条件を指定することでログ絞り込みが可能です。絞り込み可能な項目は以下の通りです。



検索条件で絞込ができる項目は以下の通りです。

・警告なし

入場〇(ゲート判定 OK)のログ絞込ができます。

・入場不可

入場×(ゲート判定 NG)のログ絞込ができます。

・発熱異常

発熱×(測定値が温度閾値を超えた)のログ絞込ができます。

・マスク警告

マスク×(マスク未着用)のログ絞込ができます。

・未登録者

未登録者(ユーザ登録されていない) のログ絞込ができます。

・ブラックリスト

ブラックリスト登録されているユーザのログ絞込ができます。

・期間指定

日時を入力して、期間中のログ絞込ができます。

・ID

ユーザ登録情報の ID で絞込ができます。完全一致検索となります。

・氏名

ユーザ登録情報の氏名で絞込ができます。部分一致検索となります。

・グループ①～③

ユーザ登録情報のグループ名で絞込ができます。前方一致検索となります。

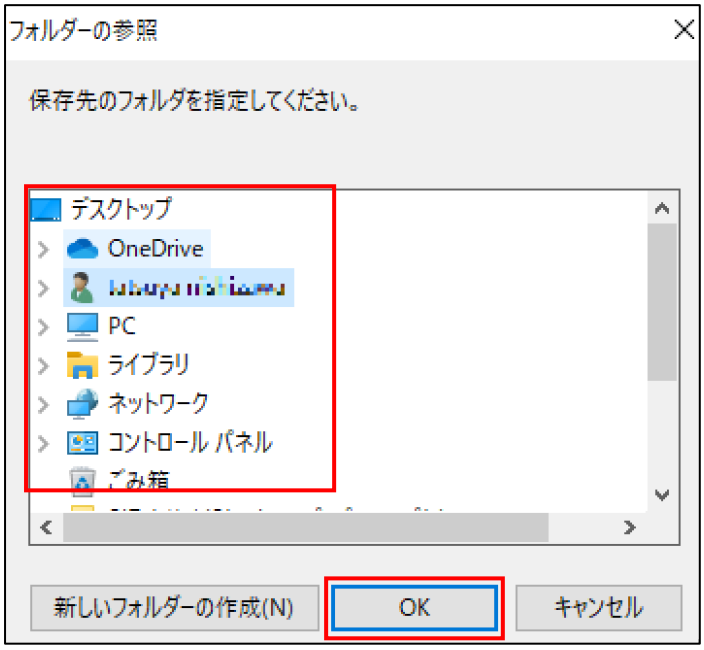
※グループ機能については手順 7.9 を参照ください。

項目にチェックを入れて「指定した条件で検索」をクリックすると、指定された条件のログ一覧が表示されます。

© 2021 DataScope inc.

6.4　ログの csv 出力と認証時画像の出力

赤枠の「ダウンロード」ボタンをクリックすることで、ログ一覧に表示されたログの csv 出力が可能です。また「画像を追加」のチェックボックスを入れると、対象ログの認証時画像も一緒にファイル出力することが可能です。



「ダウンロード」ボタンをクリックすると、フォルダの参照画面が表示されます。

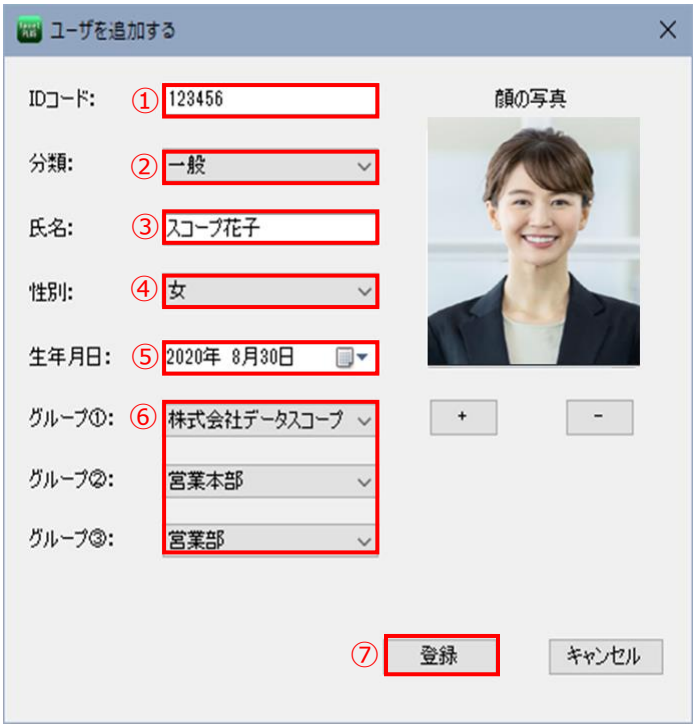
保存するフォルダを選択して、「OK」をクリックすると、選択したフォルダに csv および画像ファイルが保存されます。

6.5　未登録者の認証時画像からのユーザ登録(複数カメラー括操作)

ログ一覧に存在する未登録者の画像を、新規ユーザとしてユーザ登録することが可能です。未登録者の認証時画像の上で、右クリックすると「ユーザ登録」ボタンが出てきますので、左クリックで実行してください。

※「未登録」と判定された認証画像のみしかユーザ登録はできませんので、ご留意ください。

「ユーザ登録」ボタンを押すと、選択した顔画像で「ユーザを追加する」の画面が表示されます。

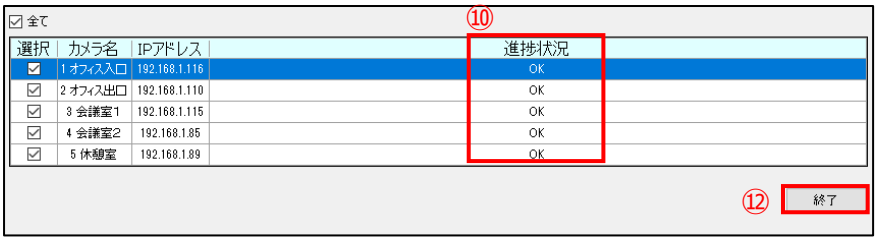


①ID コードを入力してください。(必須)
②分類を一般かブラックリストか選択してください。(必須)
③氏名を入力してください。(必須)
④性別を入力してください。(任意)
⑤生年月日を入力してください。(任意)
⑥グループ情報を入力してください。(任意)
⑦「登録」を押します。

© 2021 DataScope inc.

⑧ユーザ登録を行うカメラにチェックを入れます。

⑨「実行する」ボタンをクリックします。

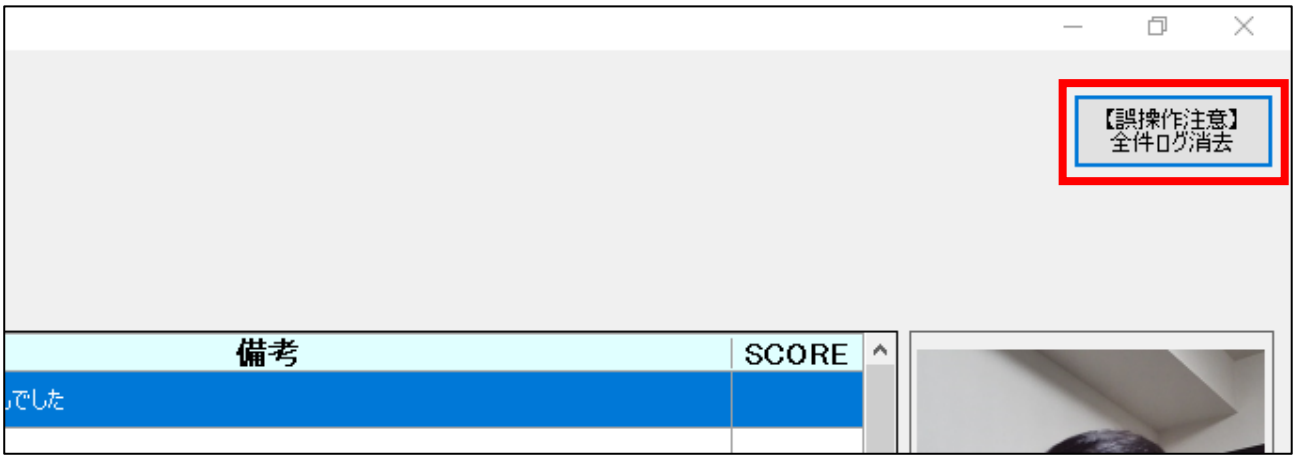


⑩成功すると進行状況に「ＯＫ」と表示されます。

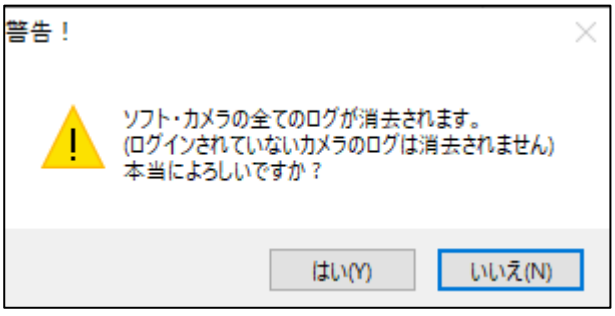
⑪「終了」ボタンをクリックして完了です。

6.6　ログ全件削除機能

【注意】:本機能を使用すると FaceFC 本体(カメラ本体)および Facet Plus から検出ログ(認証ログ)が**全て消去**されます。一度消去するとログを復元することはできませんので、ご注意ください。



ログ一覧の右上に「全件ログ消去」ボタンがあります。こちらを実行すると、FaceFC 本体(カメラ本体)および Facet Plus から検出ログ(認証ログ)が全て消去されます。



「全件ログ消去」ボタンを押すと、「警告！」の画面が表示されます。

「はい」をクリックするとログが全件消去されます。

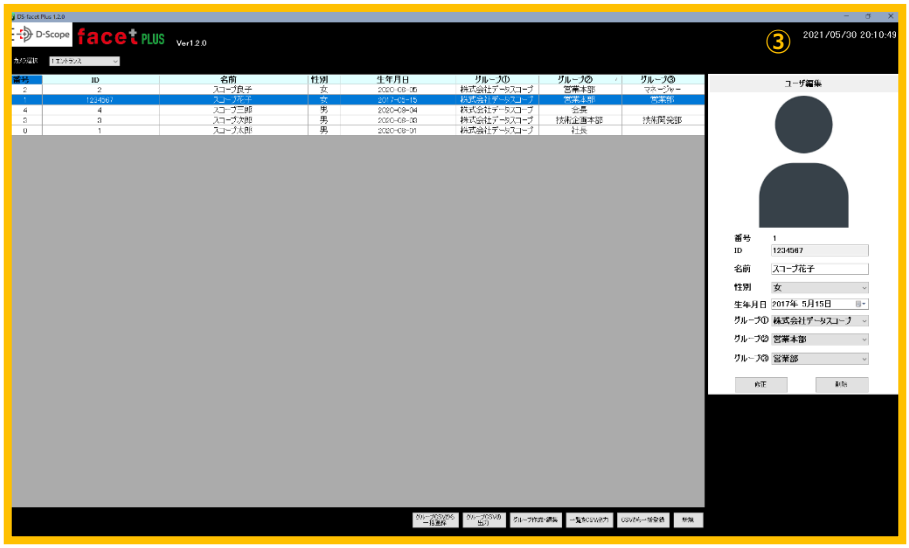
© 2021 DataScope inc.

7. ユーザ登録管理の機能説明

7.1　ユーザ登録管理画面への移動

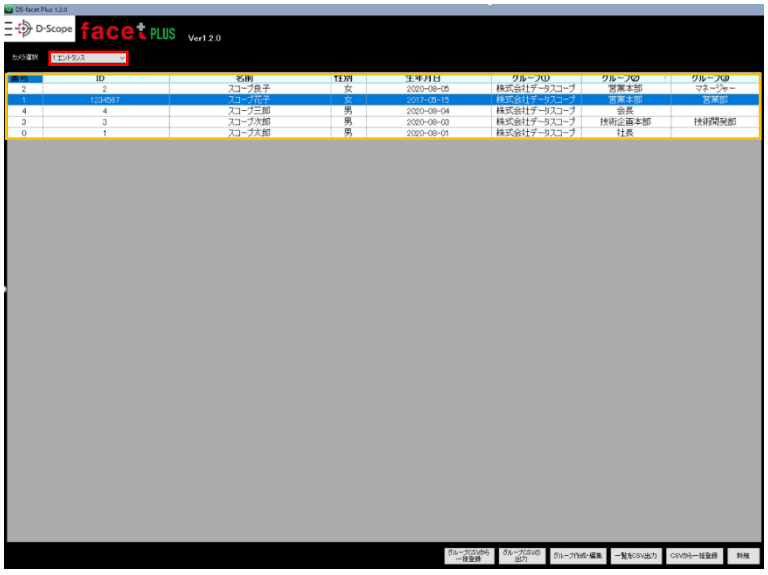
▼左メニュー

▼ユーザ登録管理画面



① 左上の「D-Scope」ロゴを右クリックして、メニューを表示させます。
②「ユーザ登録管理」をクリックします。
③ユーザ登録管理画面に遷移します。

7.2　カメラの選択とユーザ登録情報の表示



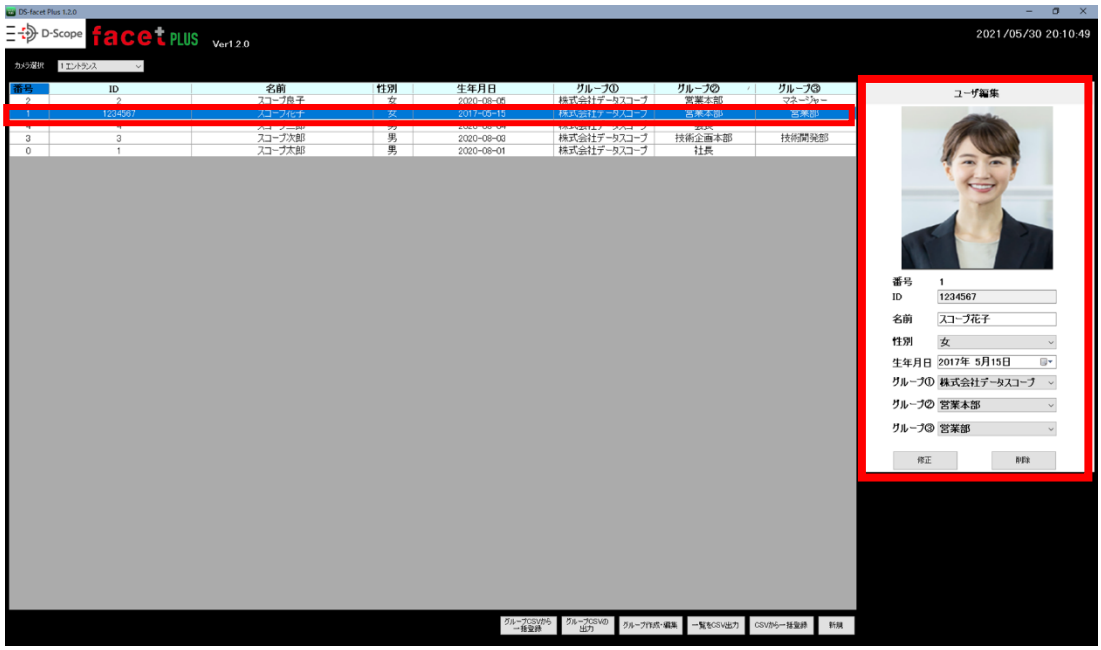
「カメラ選択」よりカメラを選択すると、該当カメラに登録されているユーザ情報が表示されます。

7.3　ユーザ登録情報の昇順/降順並べ替え

番号	ID	名前	性別	生年月日
0	3	スコープ次郎	男	1970-08-01
1	7	スコープ幸子	女	1950-08-05
2	1	スコープ三郎	男	1983-08-03
3	10	スコープ四郎	男	1990-08-04
4	19	スコープ花子	女	1995-08-01
5	123456	スコープ太郎	男	1985-01-19

ユーザ情報の項目名(番号/ID/名前/性別/生年月日/グループ①～③)をクリックすることで、各項目ごとに昇順/降順に並べ替えることが可能です。

7.4　ユーザ登録情報の修正(複数カメラー括操作)



登録情報を修正したいユーザをクリックすると、右側に選択したユーザ情報が表示されます。情報を変更することで、登録情報の修正が可能です。

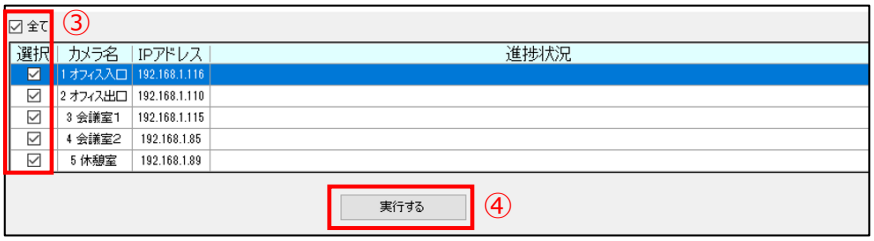
© 2021 DataScope inc.

①「名前」、「性別」、「生年月日」、「グループ①～③」の変更を行います。

※画像、番号、ID の変更はできません。こちらの項目を変更したい場合は、いったんユーザを削除して再度登録が必要となります。

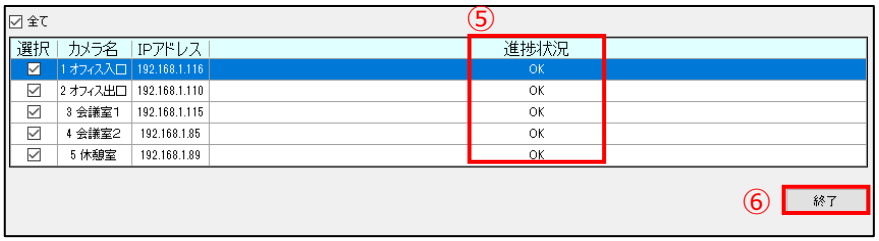
※グループ①～③は、グループ機能(手順 7.9)を参照ください。

②「修正」ボタンをクリックします。



③ユーザ修正を行うカメラにチェックを入れます。

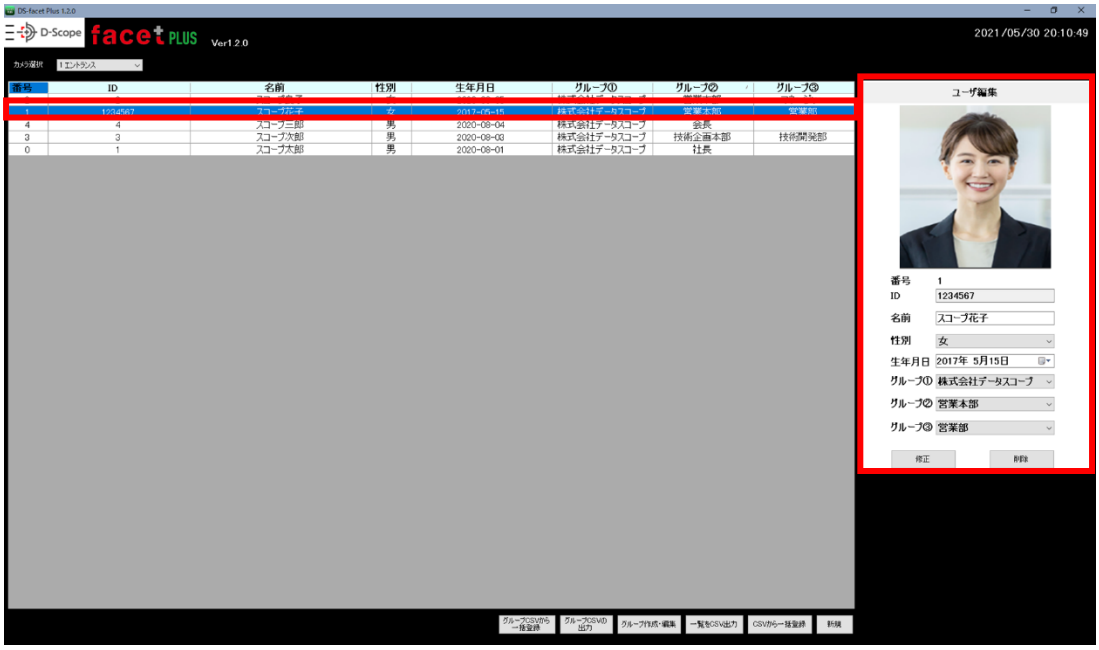
④「実行する」ボタンをクリックします。



⑤成功すると進行状況に「ＯＫ」と表示されます。

⑥「終了」ボタンをクリックして修正完了です。

7.5　ユーザ登録情報の削除(複数カメラー括操作)



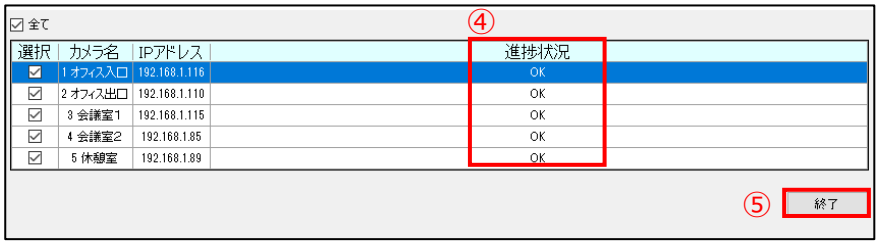
登録情報を削除したいユーザをクリックすると、右側に選択したユーザ情報が表示されます。

①「削除」ボタンをクリックして、確認画面で「ＯＫ」を選択します。

© 2021 DataScope inc.

②ユーザ削除を行うカメラにチェックを入れます。

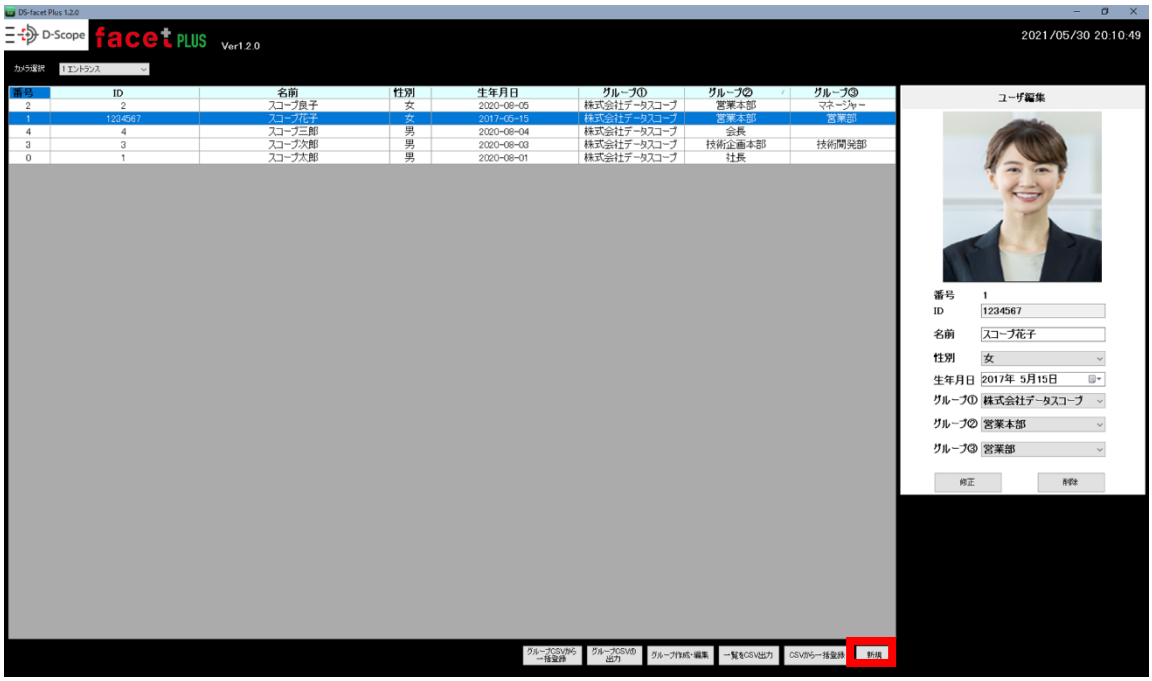
③「実行する」ボタンをクリックします。



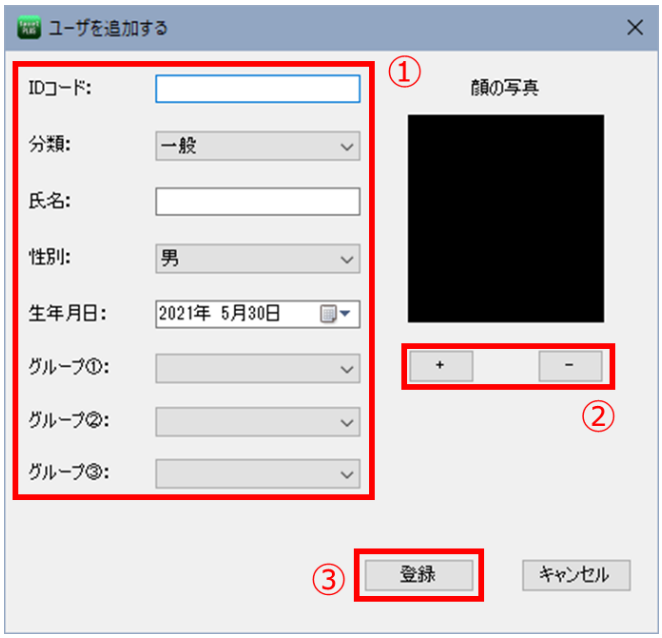
④成功すると進行状況に「ＯＫ」と表示されます。

⑤「終了」ボタンをクリックして削除完了です。

7.6　ユーザ登録情報の新規追加(複数カメラ一括操作)



上図の赤枠の「新規」ボタンをクリックすることで、新規ユーザの登録が可能です。

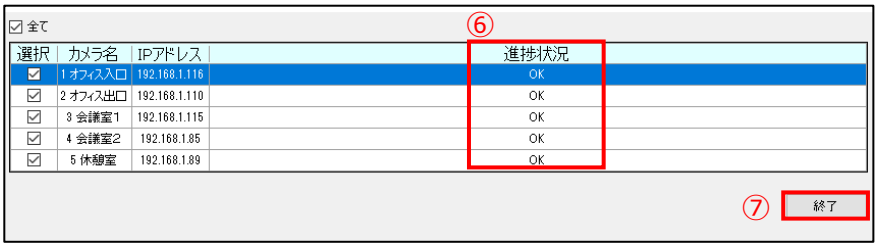


「新規」ボタンをクリックすると、「ユーザを追加する」の画面が表示されます。

①「ID コード」、「分類(一般 or ブラックリスト)」、「氏名」、「性別」、「生年月日」を入力します。
②「+」ボタンで画像データの登録、「－」ボタンで画像データの削除ができます。
③登録をクリックすると、ユーザが追加されます。

④ユーザ登録を行うカメラにチェックを入れます。

⑤「実行する」ボタンをクリックします。

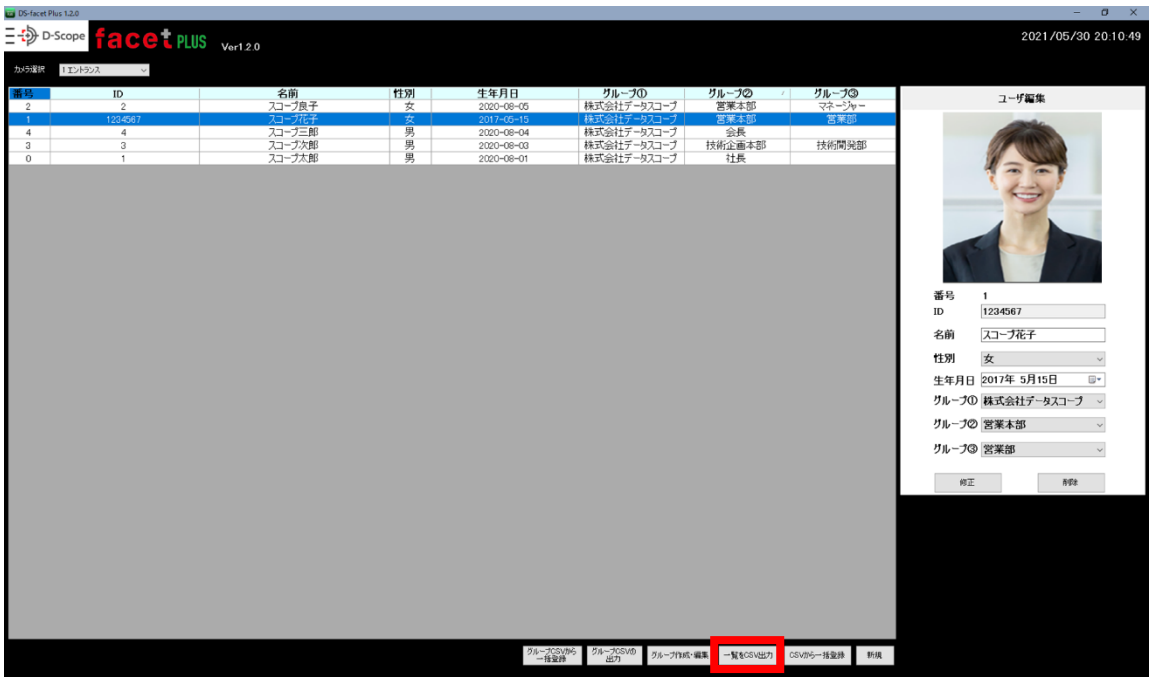


⑥成功すると進行状況に「ＯＫ」と表示されます。

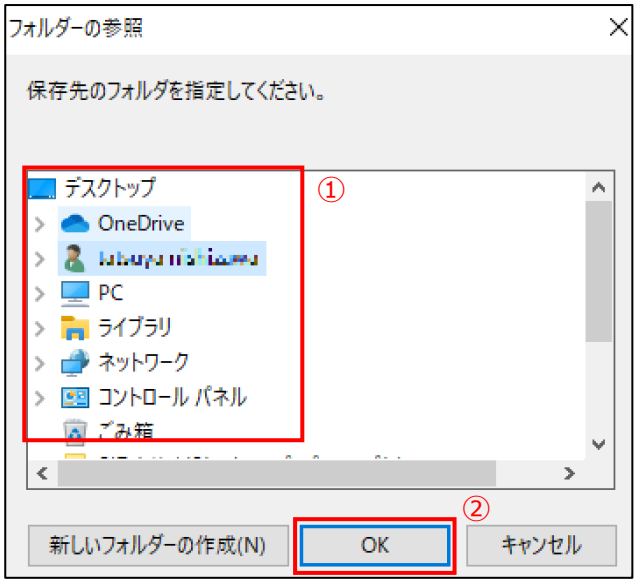
⑦「終了」ボタンをクリックしてユーザ登録完了です。

© 2021 DataScope inc.

7.7　ユーザ登録情報の一括出力



上図の赤枠の「一覧を CSV 出力」をクリックすることで、選択しているカメラに登録されているユーザの csv ファイルと登録画像のデータ出力ができます。



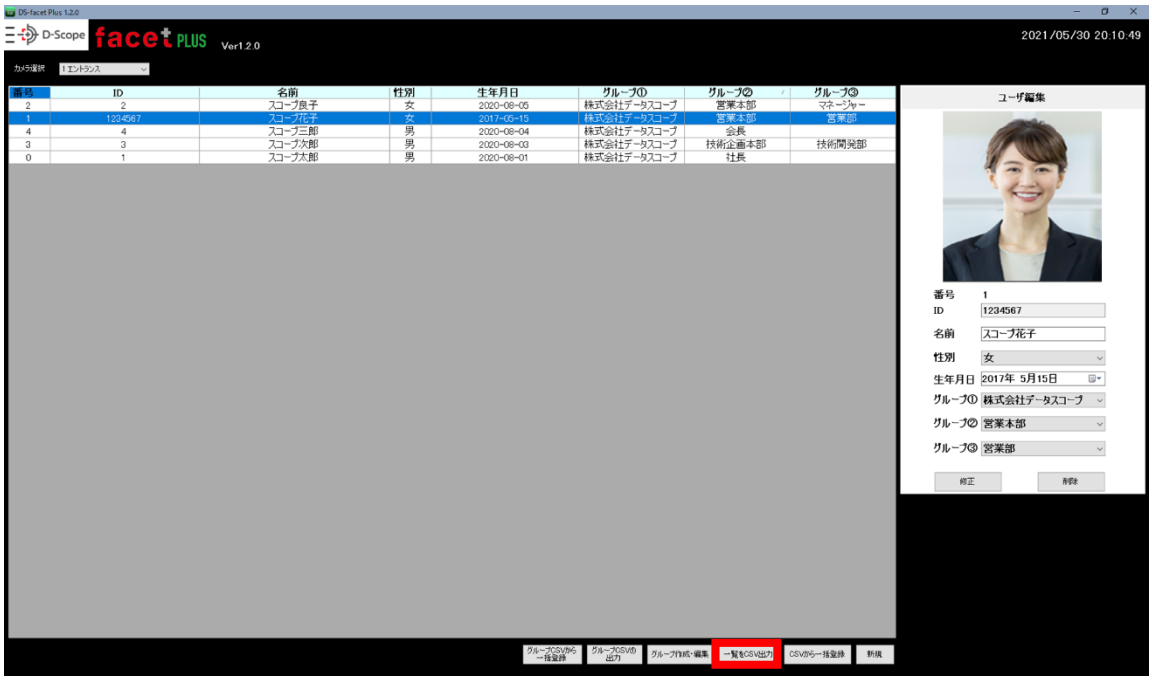
「一覧を CSV 出力」をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されます。

① csv ファイルと登録画像が出力されるフォルダを選択します。

②「OK」をクリックします。

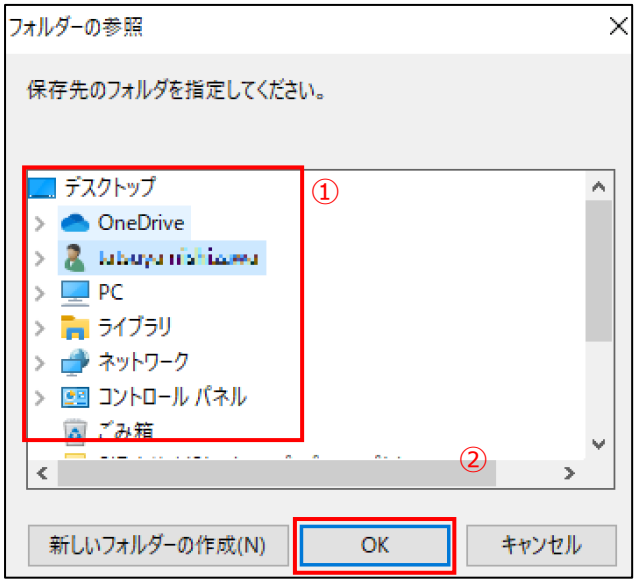
③選択したフォルダに csv ファイルと登録画像が出力されていることを確認します。

7.8　ユーザ登録情報の一括登録(複数カメラ一括操作)



「CSV から一括登録」をクリックすると、csv ファイルと顔画像が保存されているフォルダを指定して、ユーザの一括登録が可能です。

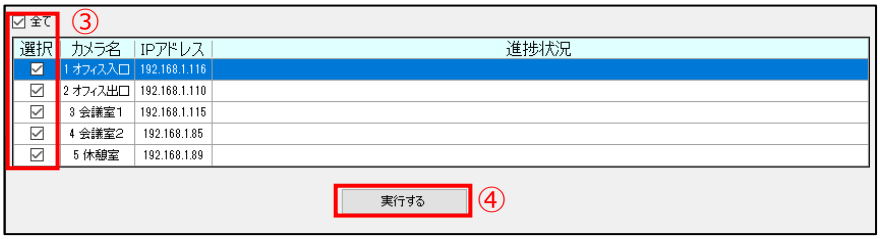
© 2021 DataScope inc.



①一括登録する csv ファイルと顔写真が保存されているフォルダを指定します。

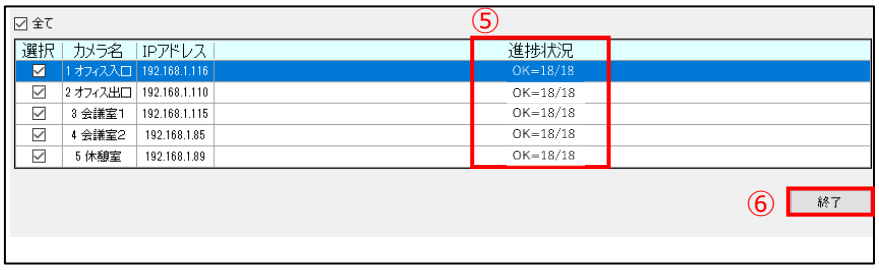
※手順 7.7③のような、csv ファイルと登録画像が保存されているフォルダを指定します。

②「OK」ボタンをクリックします。



③一括登録を行うカメラにチェックを入れます。

④「実行する」ボタンをクリックします。



⑤「OK」に登録成功した件数、「NG」に登録失敗した件数が表示されます。

⑥「終了」ボタンをクリックすると、一括登録が完了です。

※登録しようとしているユーザ情報が既に登録されている場合は、登録 NG となります。

7.9　ユーザグループ機能の説明と注意点

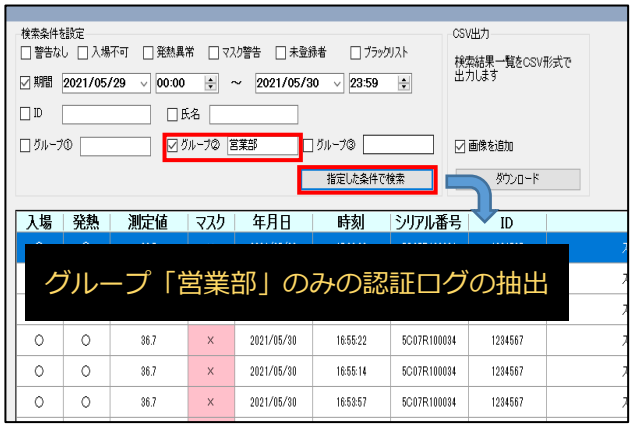
ユーザグループ機能は、facet Windows 版 / facet Plus Windows 版にて拡充した追加機能です。Web 基本ソフトおよび facet Cloud では本機能を使用できませんのでご注意ください。(2021 年 5 月 31 日現在)

ユーザグループ機能とは、FaceFC の登録者に対してグループを 3 つまで付与することができます。グループは組織名(本部名/部署名)や役職、会社名等、自由に作成することができます。グループ機能を使用することで、ダッシュボードやログ一覧画面にて、認証者がどの組織に属しているか認証時に把握することができます。また、組織内の認証状況もログ一覧の絞り込み機能を使えば容易に一覧化することができます。

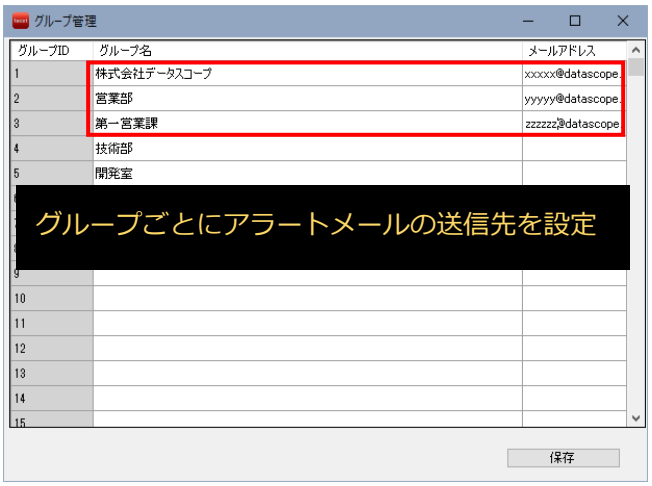
加えて、グループごとにメール送信先を設定できる機能も備えており、認証者に認証異常があった際は、認証者が属するグループの送信先(責任者など)にアラートメールを送信することが可能です。

▼ダッシュボードのユーザグループ情報

▼ログ一覧のユーザグループ絞り込み

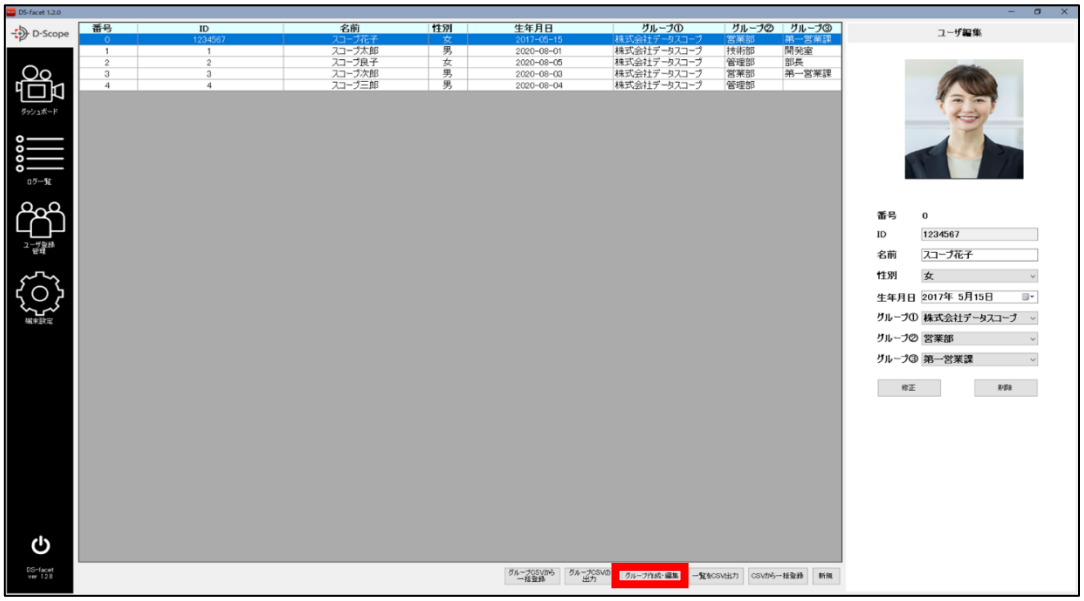


▼グループごとのメール送信先設定



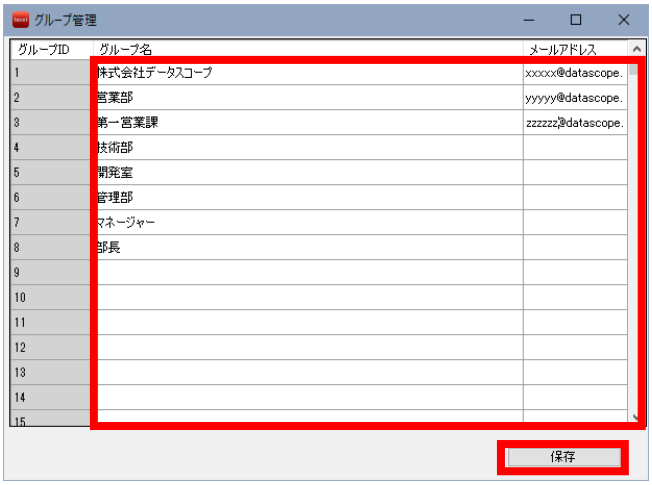
© 2021 DataScope inc.

7.10　ユーザグループの作成・編集



上図の赤枠の「グループ作成・編集」をクリックすると、「グループ管理」画面が立ち上がります。

▼グループ管理画面



「グループ名」に任意の名前を入力することで、グループ名の作成・編集が可能です。また、グループごとにアラートメールを送信場合は、「メールアドレス」に送信先メールアドレスを入力して、下の「保存」ボタンを押します。

※グループは最大 300 件まで登録することができます。

※「端末設定」の「アラートメール」にて、「グループ制御する」にチェックを入れる必要があります。手順 8.7-参照

7.11　ユーザグループの csv 登録

下記に格納されている csv ファイルを編集することで、ユーザグループの登録・メール送信先を設定することができます。アプリケーションに反映させるには、facet Windows 版を再起動する必要がありますのでご留意ください。

「C:¥D-Scope¥master-csv」の「GropuList.csv」ファイル

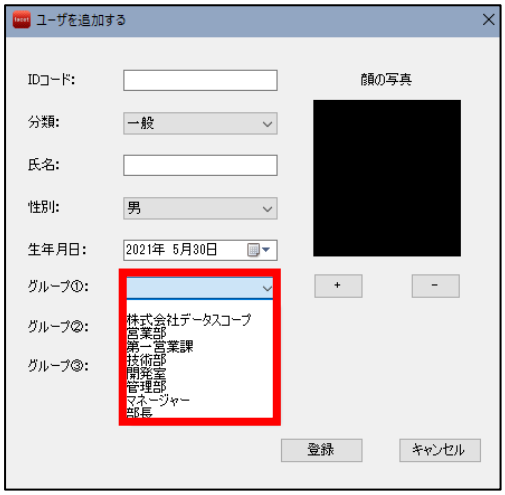
GroupList.csv のデータフォーマットは、１列目：グループ ID(固定)、２ 列目：グループ名、３列目：メールアドレスとなります。

7.12　ユーザグループの割当

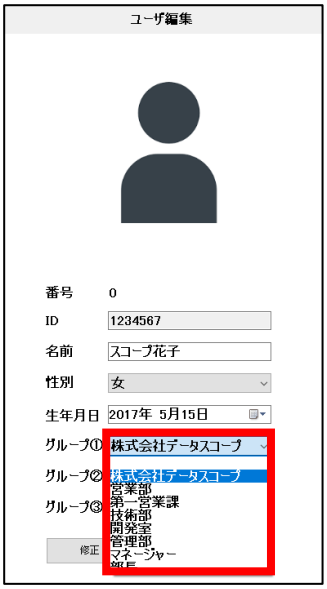
ユーザグループの作成が完了すると(手順 8.2)、ユーザの追加画面や編集画面(手順 7.3,7.4)のグループ①、②、③をプルダウンで選択できるようになります。割当を行い「登録」もしくは「修正」ボタンで更新を行います。

更新されれば、次回の認証からグループ情報がダッシュボード・ログ一覧に表示されるようになります。

▼ユーザ追加画面

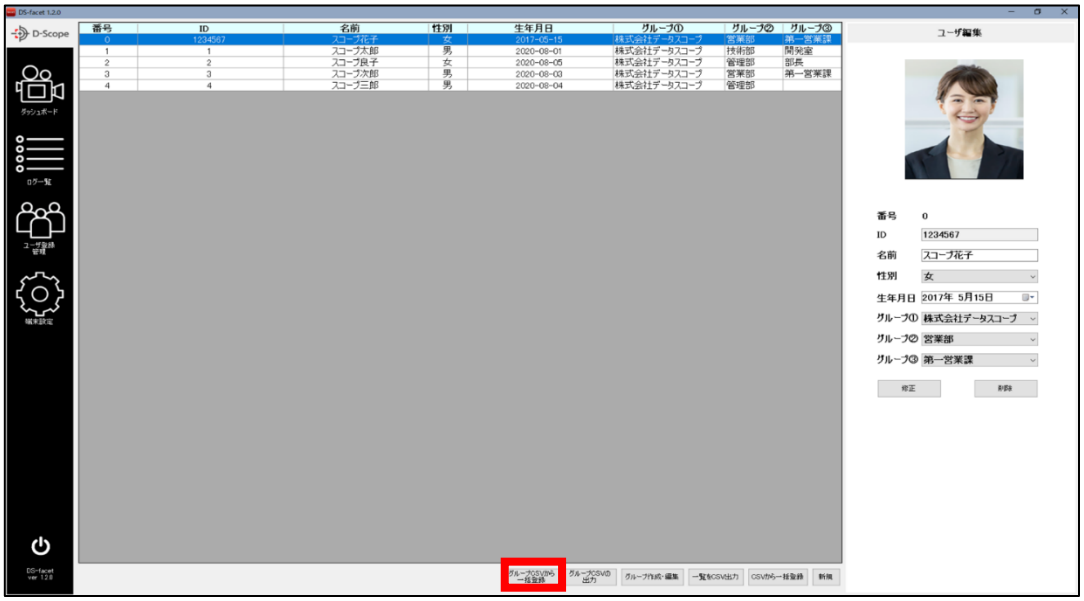


▼ユーザ編集画面



© 2021 DataScope inc.

7.13　ユーザグループ情報割当の csv 一括登録



既に登録されているユーザに対して、csv ファイルを読み込ませることで一括でユーザグループ割当が可能です。上図の赤枠の「グループ CSV から一括登録」をクリックして、対象の csv ファイルを読み込ませます。

【注意】本機能は ユーザデータ(ID,氏名,顔写真等)を登録する機能ではございません。ユーザ登録は Web 管理ツールもしくは手順 7-4,7-5 で実施をしてください。本機能は登録されているユーザデータに対して、さらにユーザグループ情報を一括で割当てる機能となります。

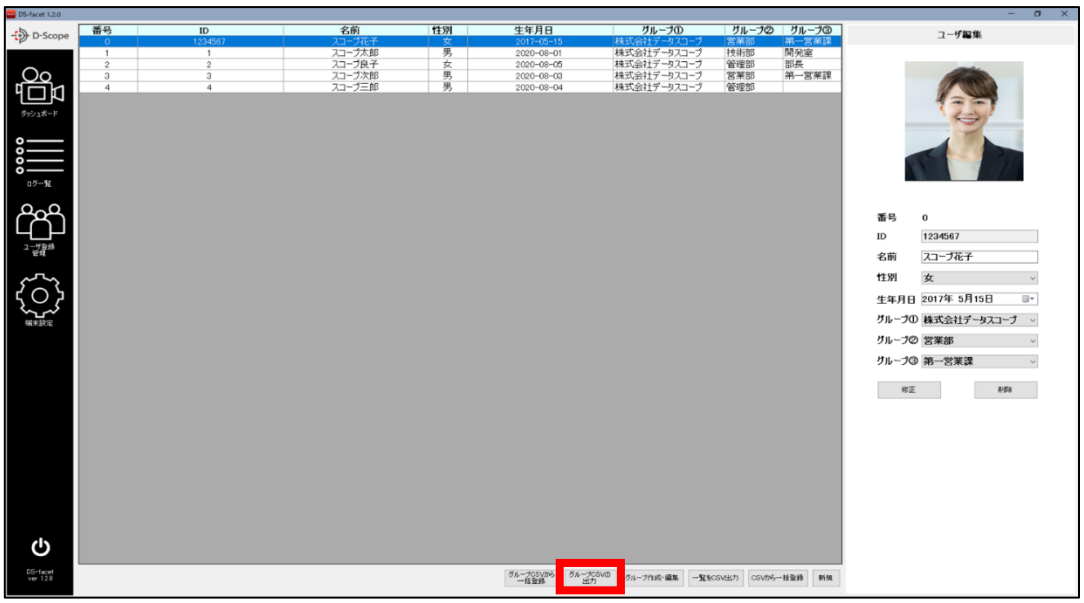
csv のデータフォーマットは、「１列目：ユーザ ID」、「２列目：グループ１に割り当てたいグループ名」、「３列目：グループ２に割り当てたいグループ名」、「４列目：グループ 3 に割り当てたいグループ名」となります。また、ヘッダーに「１列目：ID」、「２列目：グループ１」、「３列目：グループ 2」、「４列目：グループ 3」が必要になります。

※別途 csv のフォーマットファイルを納品いたしますので、そちらも参考にしてください。

▼読み込ませる csv ファイル例

	A	B	C	D
1	ID	グループ1	グループ2	グループ3
2	12345	株式会社データスコープ	営業部	営業課
3	54321	株式会社データスコープ	技術部	
4	・・・			
5	・・・			
6				

7.14　ユーザグループ情報割当の csv 一括出力



上図の赤枠の「グループ CSV の出力」をクリックすると、facet に登録されているユーザグループの割当情報を出力することができます。

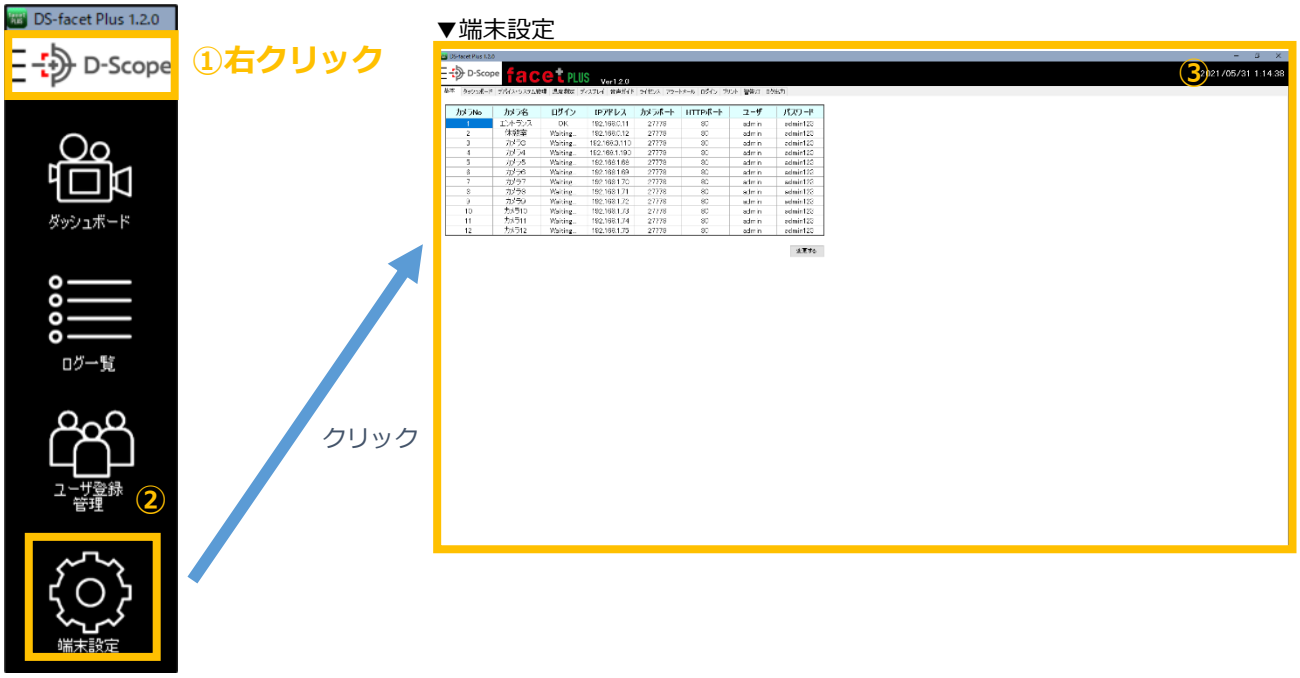
出力されるデータフォーマットは、「１列 目：ユーザ ID」、「２列目：氏名」、「３列目：グループ 1 に割り当てられているグループ 名」、「４列目：グループ 2 に割り当てられているグループ名」、「5 列目：グループ 3 に割 り当てられているグループ名」となります。

© 2021 DataScope inc.

8. 端末設定の説明

8.1　端末設定画面への移動

▼左メニュー



① 左上の「D-Scope」ロゴを右クリックして、メニューを表示させます。

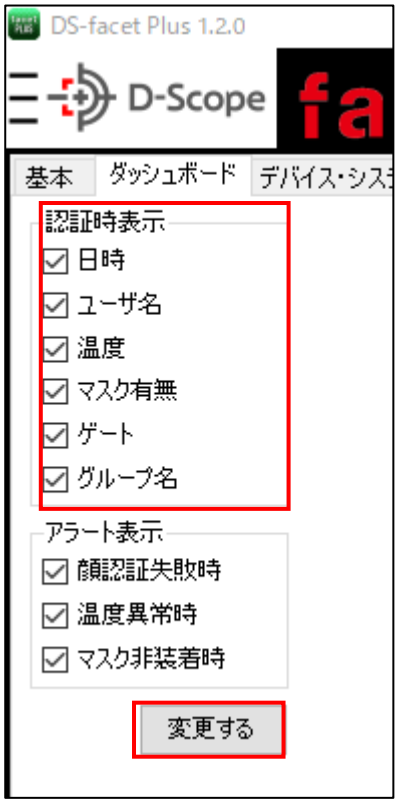
②「端末設定」をクリックします。

③端末設定画面に遷移します。

※「基本」タブについては手順 4.1 で説明したため、記載を割愛します。

8.2　ダッシュボードの設定

上図赤枠の「ダッシュボード」タブをクリックすることで、ダッシュボードの認証画面で表示する項目を設定できます。



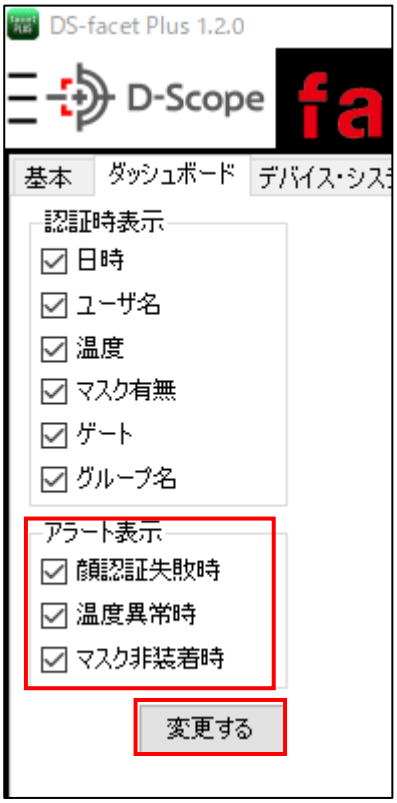
「認証時表示」のチェックボックスを変更することで、ダッシュボードの認証結果枠の表示項目をカスタマイズできます。変更後は「変更する」ボタンを押してください。

▼初期時(オールチェック時)

▼温度 / ユーザ名のチェックを外した時

↑温度/ユーザ名が
表示されなくなる

© 2021 DataScope inc.



「アラート表示」のチェックボックスを変更することで、ダッシュボードのアラート判定基準(赤枠・赤字表示)をカスタマイズできます。変更後は「変更する」ボタンを押してください。

▼初期時(オールチェック時)

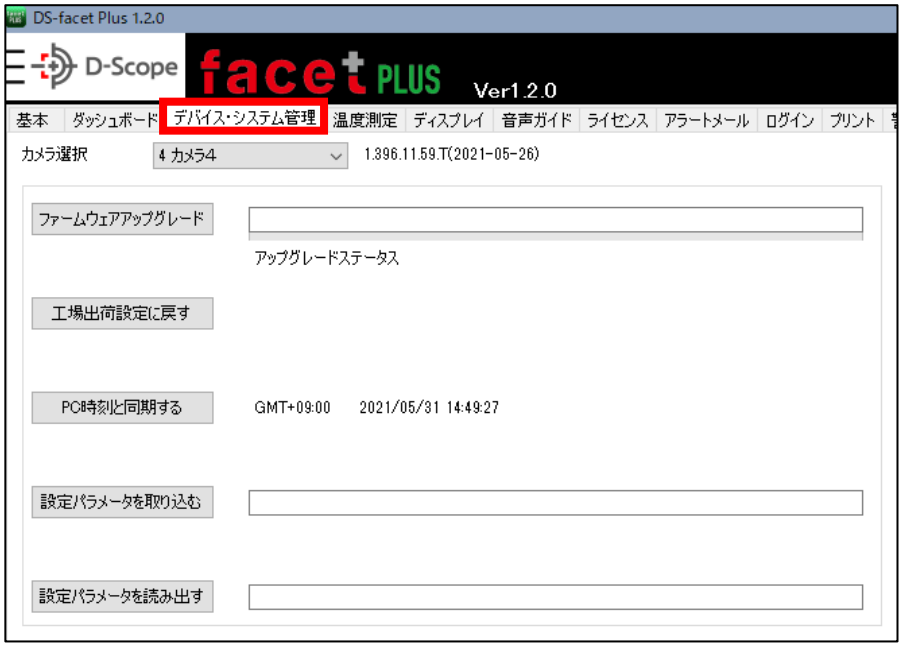
↑マスクをしていないため、
赤枠でアラート表示

▼「マスク非装着時」のチェックを外した時

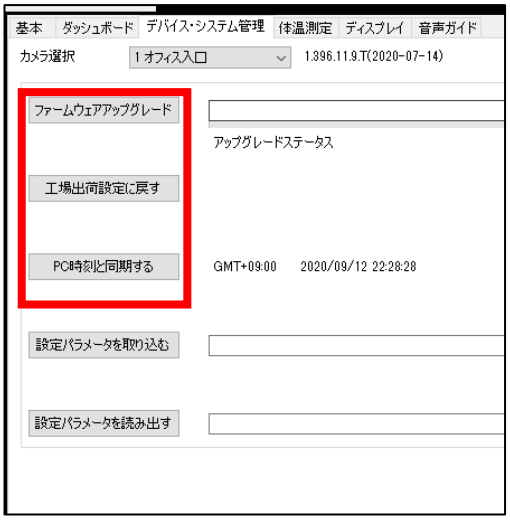
↑マスクをしていなくても、
アラート表示されない

※アラート表示のチェックボックスを外すと、該当判定の音声ガイド通知も OFF になります。

8.3　デバイス・システム管理



上図赤枠の「デバイス・システム管理」タブをクリックすることで、システムメンテナンスの各項目を複数カメラに対して一括設定することが可能です。



下記の一括設定が可能です。

①ファームウェアアップグレード

(温度検知、顔認証デバイス操作説明書 第 1 版 9.2 アップグレードボタンの機能)

②工場出荷設定に戻す

(温度検知、顔認証デバイス操作説明書 第 1 版 9.2 工場出荷設定に戻すボタンの機能)

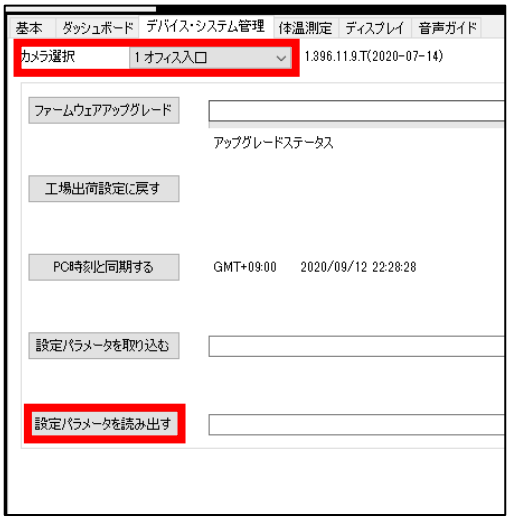
③ＰＣ時刻と同期する

(温度検知、顔認証デバイス操作説明書 第 1 版 2.4 時刻同期の機能)

※「工場出荷設定に戻す」を実行した場合は、Web 管理ツールにてパスワードの初期設定が必要になります。

※ 設定パラメータを取り込む機能は開発中で、現状は機能いたしません。

© 2021 DataScope inc.



「カメラ選択」でカメラを選択して、「設定パラメータを読み出す」をクリックすると、選択したカメラの設定パラメータをエクスポートすることが可能です。

(温度検知、顔認証デバイス操作説明書 第 1 版 9.2 パラメータのエクスポートの機能)

8.4　温度測定の設定

上図赤枠の「温度測定」タブをクリックすることで、温度測定の各項目を複数カメラに対して一括設定することが可能です。(温度検知、顔認証デバイス操作説明書 第 1 版 8.4 高機能設定 温度検出)

「カメラ選択」でカメラを選択すると、選択したカメラの設定値に情報が更新されます。値を修正して「変更する」をクリックすると、該当カメラのみ設定が変更され、「他のカメラを含めて変更する」をクリックすると他のカメラも含めて設定が変更されます。

8.5　ディスプレイ(ロゴ画像)の変更

上図赤枠の「ディスプレイ」タブをクリックすることで、カメラ本体に表示されるロゴ画像を複数カメラに対して一括設定することが可能です。(温度検知、顔認証デバイス操作説明書 第 1 版 8.1 高機能設定 情報 3)

「カメラ選択」でカメラを選択すると、選択したカメラのロゴ画像が表示されます。「ロゴの変更」をクリックすると、変更するロゴ画像をＰＣから選択することが可能です。画像変更を他カメラも含めて実施する場合は、「他のカメラも含めて変更する」をクリックします。「リセット」をクリックすると、デフォルトのロゴ画像に戻すことができます。

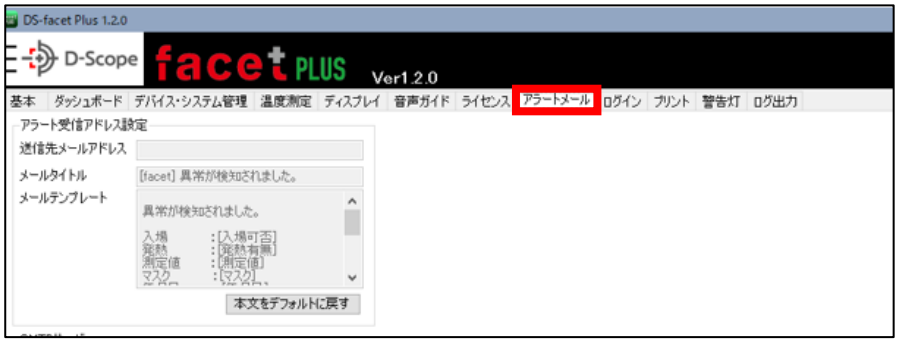
© 2021 DataScope inc.

8.6　音声ガイドの設定

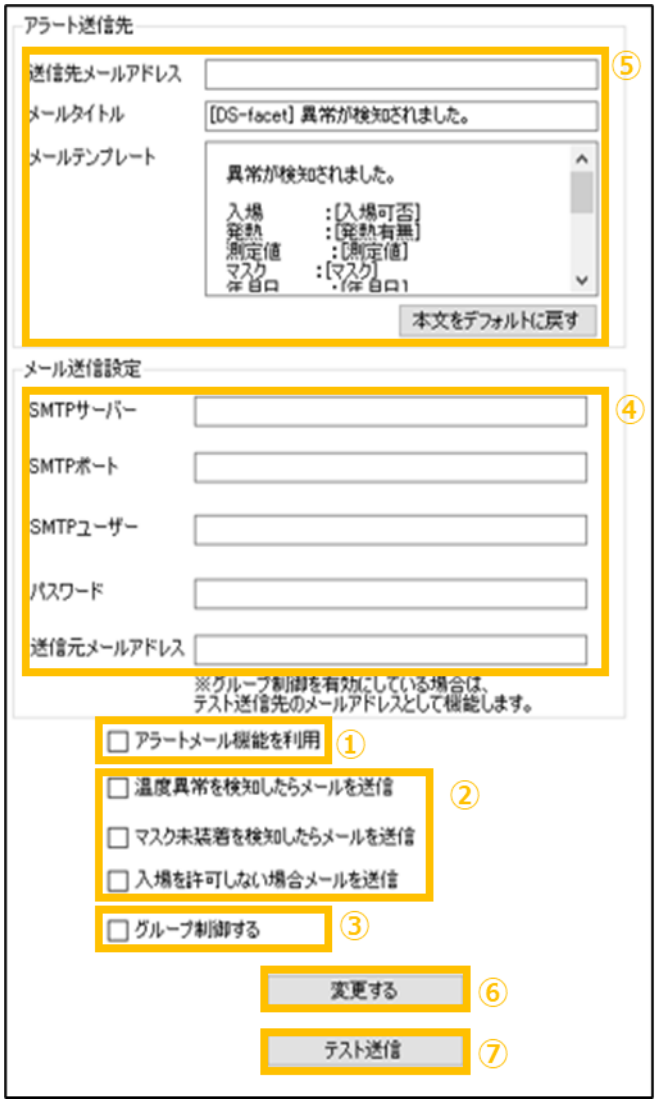
上図の赤枠の「音声ガイド」タブをクリックすることで、音声ガイドの通知設定を変更できます。「音声ガイド」タブをクリックすると、音声ガイドの通知設定画面が表示されます。

①音声ガイドを OFF にする場合は、チェックを外します。
②認証項目(目的)ごとに発話するメッセージの変更が可能です。メッセージを変更する場合は、対象メッセージをクリックして編集します。
③認証項目(目的)ごとに、発話の ON/OFF を設定可能です。OFF にする場合はチェックを外します。
④変更を反映する場合は、「変更する」ボタンをクリックします。
⑤デフォルト設定に戻す場合は、「デフォルトに戻す」をクリックして、確認画面で「はい」を選択します。

8.7　アラートメールの設定



左図の赤枠の「アラートメール」タブをクリックすることで、異常時のメール送信機能の設定が可能です。



①アラートメール機能を ON にするには、「アラートメール機能を利用」をチェックしてください。

②メールを発報する条件を指定できます。
発熱異常時、マスク未着用時、入場 OK / NG から選択可能です。発報したい条件にチェックを入れてください。

③ユーザグループのメール送信機能を有効にするには、「グループ制御する」をチェックしてください。

④メール送信に利用する SMTP サーバ情報を入力してください。
※「グループ制御する」にチェックを入れている場合は、テスト送信先のメールアドレスとして機能します。

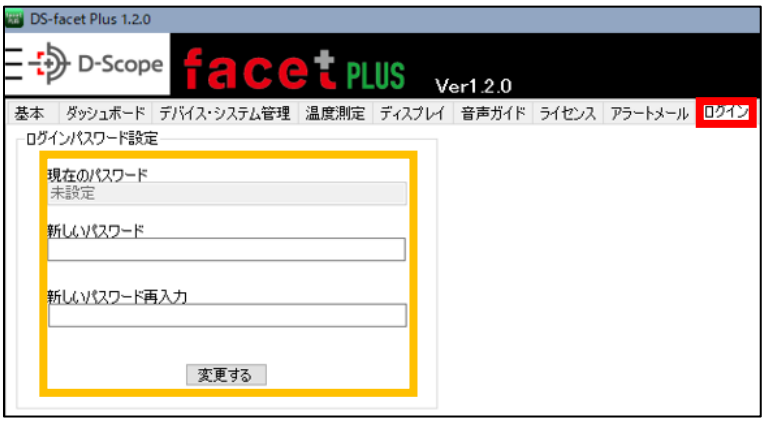
⑤「送信先メールアドレス」にメール発報するメールアドレスを入力してください。
「メールタイトル」を編集することで、メールの件名を変更可能です。「メールテンプレート」では、メール本文に記載する内容を編集できます。“[ ]”で囲われた項目は、認証時時の測定結果が記載されます。
「本文をデフォルトに戻す」ボタンを押すと、初期値に戻ります。

⑥変更を反映する場合は、「変更する」ボタンをクリックします。

⑦「テスト送信」ボタンを押すことで、メールテストを行うことができます。テストメール送信が完了した場合「テスト成功」と表示されます。失敗した場合は、③、④の設定値が誤っている場合がございますので、ご確認ください

© 2021 DataScope inc.

8.8　ログイン時のパスワード設定



　左図の赤枠の「ログイン」タブをクリックすることで、Facet Plus 起動時のパスワード設定を変更できます。

　パスワードを変更する場合は、現在のパスワードと新しいパスワードを入力して「変更する」ボタンを押してください。

※パスワード未設定時は新しいパスワードのみ入力してください。

※パスワードを忘れた場合は、別途送付させていただきますパスワード初期化ツールを実行することでパスワードが解除されます。

8.9　ラベルプリンタ 連携機能

<<本機能を使用する前に・・・>>

本機能は brother 社製ラベルプリンタとの連携機能です。動作確認機種は、**TD-4550DNWB / QL-820NWB / TD-4420DN / RJ-3150** です。認証毎に認証結果をプリント出力できます。事前に①,②の作業を行い、本機能を使用できる準備を行ってください。

また、標準で用意しているテンプレートファイルの用紙サイズは、レシート（幅 58mm)、ラベル(幅 76mm×長さ 26mm)となりますが、P-touch Editor(brother 社製ソフトウェア)にてテンプレートを編集することで、他サイズの用紙でも出力可能です(後述の「ワンポイント メモ」参照)。

①.　Facet Plus を使用する PC にて、下記サイトから brother 社製プリンタの統合インストーラーをインストールして、プリンタを使用できるようにご準備ください
https://support.brother.co.jp/j/b/downloadlist.aspx?c=jp&lang=ja&prod=es_td4550dnwbjp&os=10011
※ご不明点がありましたらプリンタのマニュアルを参照のうえお進めください。

②.「bPAC3CCISetup.msi」を実行して PC にインストールしてください。
※「bPAC3CCISetup.msi」は納品物として別途送付いたします。

© 2021 DataScope inc.

③．左図の赤枠の「プリント」タブをクリックすることで、プリンタ連携メニューを開くことができます。

④．機能を ON にするには、発行切り替えを「ON」にしてください。
※プリンタ連携をしない場合は「OFF」にしてください。

⑤．参照ボタンを押して、
テープを使用する場合は、
receiptRayout.lbx
ラベルを使用する場合は、
steckerRayout.lbx
の置き場所を指定してください。

※「receiptRayout1.lbx」「steckerRayout1.lbx」は納品物として別途送付いたします。

⑥. 発行時メッセージの「入場可」「入場不可」を編集することで、下記のテープ・ラベルテンプレートの☆部分の出力メッセージが変更可能です。

例えば、、、
入場可を「OK」、入場不可を「NG」にすれば、通行許可の認証時(入場〇)は☆部分が「OK」、通行未許可(入場×)の認証時は☆部分が「NG」で出力されます。

▼ラベル テンプレート(steckerRayout.lbx)

date ID
☆ 氏名： name
temp ℃ マスク: mask Num

▼テープ テンプレート(receiptRayout.lbx)

date
id
name
mask
temp
Num
☆

▼入場可「OK」入力時の、通行許可認証時(入場〇)のラベルプリント例

2021/02/08 17:03:39 123
OK 氏名： スコープ太郎
36.5 ℃ マスク: 有り 5TNxxxxxx

▼入場不可「NG」入力時の、通行未許可認証時(入場×)のラベルプリント例

2021/02/08 17:03:39 123
NG 氏名： スコープ太郎
36.5 ℃ マスク: 無 5TNxxxxxx

© 2021 DataScope inc.

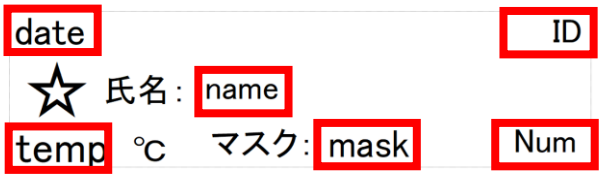
⑦. 設定が完了すれば、「変更する」ボタンを押します。以上で設定は完了です。

<<ワンポイント メモ>>

P-touch Editor(brother 社製ソフトウェア)を使用することで、テンプレートのレイアウトを自由に編集することができます。テンプレート中の項目は下記のパラメータを表し、測定毎に測定結果を出力します。

date ・・・ 認証した時間 （YYYY/MM/DD hh:mm:ss）
id ・・・ 認証した登録者の ID （例：123） ※未登録者は「未登録」と表示
name ・・・ 認証した登録者の氏名 （例：スコープ太郎） ※未登録者は「未登録」と表示
temp ・・・ 測定温度を表示 （例：36.5）
mask ・・・ マスク着用有無 （有 or 無）
Num ・・・ カメラのシリアル番号 （例：5TX0xxxxxxx）

▼ラベル テンプレート



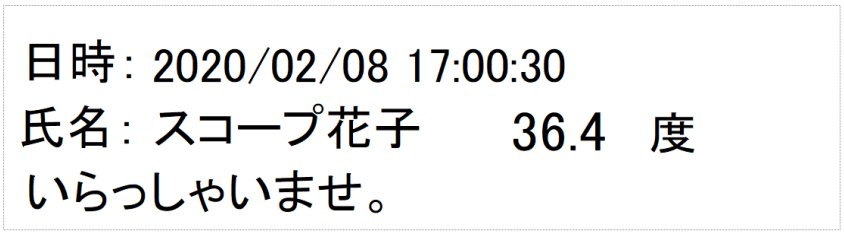
▼テープ テンプレート

P-touch Editor にてテンプレートの編集を行うことで、表示項目の削除や固定文の追加、文字フォントの大きさ変更など用途に合わせて変更することができます。編集したテンプレートファイルを保存して、該当ファイルを参照しなおすことで(8-8⑤)、更新が可能です。

例：P-touch Editor にて「steckerRayout.lb」の mask・ID・Num を削除、入場可(8-8⑥)を「いらっしゃいませ」にしてレイアウト変更

▼変更後のレイアウト例

▼変更後のラベルプリント例



標準で用意させていただいているテンプレートのサイズは、レシート（幅 58mm)、ラベル(幅 76mm×長さ 26mm)となりますが、P-touch Editor にて用紙サイズの変更を行うことで、別サイズのレシート・ラベルにも対応することが可能です。より詳しく操作を確認するには、P-touch Editor のマニュアルを参照ください。

▼P-touch Editor HP
https://www.brother.co.jp/product/labelprinter/editor/index.aspx

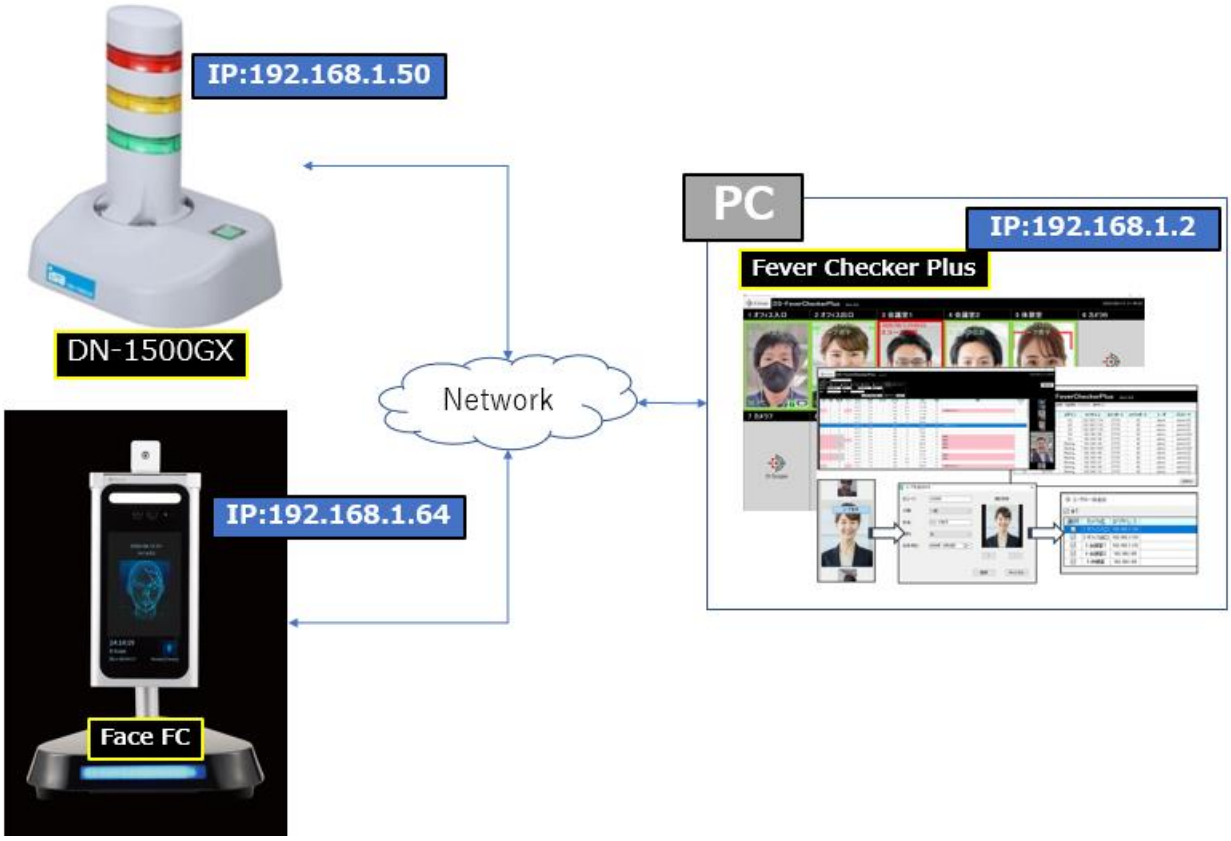
© 2021 DataScope inc.

8.10　警告灯 連携機能

<<本機能を使用する前に・・・>>

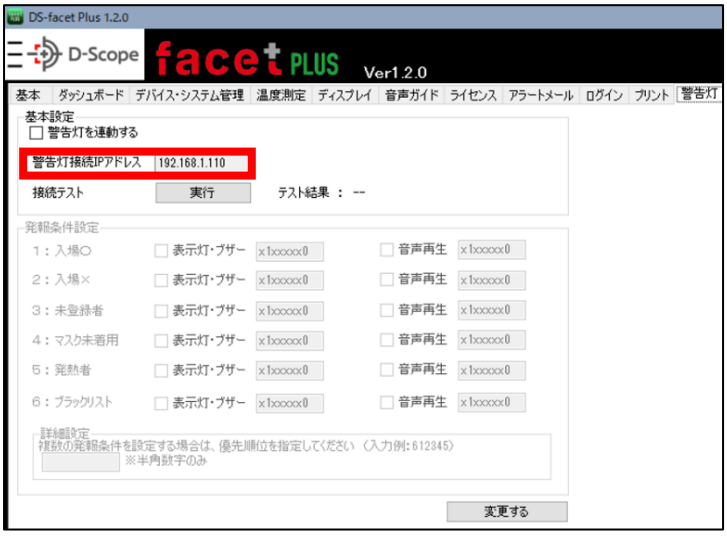
本機能はアイエスエイ社製警告灯（警子ちゃん：DN-1500GX)との連携機能です。アラート毎に警告灯で表示灯発光・ブザーおよび音声再生が可能です。Facet Plus と連携を行うには、Facet Plus がインストールされている PC から、警告灯に IP 疎通できる状態にする必要があります。DN-1500GX のマニュアル(http://isa-j.co.jp/dn1500gl/)を参照のうえセットアップを行ってください。

▼接続例(お客さまのネットワーク環境に合わせて各機器の IP を設定)：



①．左図の赤枠の「警告灯」タブをクリックすることで、警告灯メニューを開くことができます。

②．機能を ON にするには、「警告灯を連動する」にチェック入れてください。
※警告灯連動をしない場合はチェックを外してください。



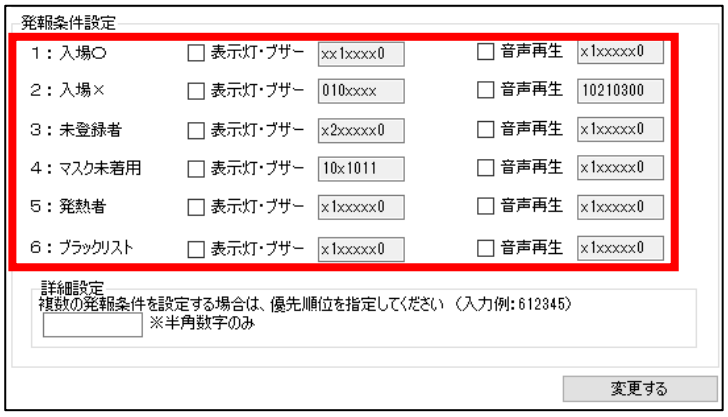
③．「警告灯接続 IP アドレス」に警告灯の IP アドレスを入力します。

© 2021 DataScope inc.

④．接続テスト「実行」を押します。警告灯への接続ができている場合は、テスト結果：OK と表示されます。

※テスト実行後は、表示灯：点滅とブザー音が鳴りますので、ご注意ください。

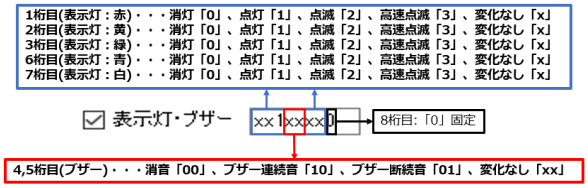
※OK と表示されない場合は、警告灯との IP 疎通ができておりませんので、警告灯の設定を確認してください。



⑤．「入場〇」、「入場×」、「未登録者」、「マスク未着用」、「発熱者」、「ブラックリスト」から発報条件を選択することができます。

発報条件ごとに、「表示灯・ブザー」および「音声再生」の設定が可能です。警告灯連動したい発報条件に対して、「表示灯・ブザー」、「音声再生」のチェックを入れてください。

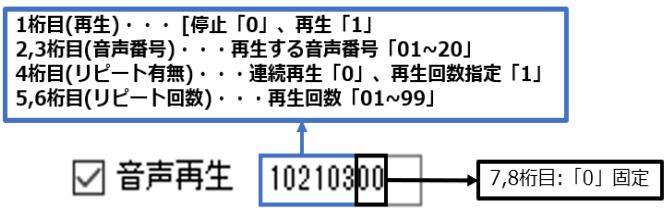
▼「表示灯・ブザー」の設定値について



⑥．「表示灯・ブザー」は計 8 桁で設定ができます。各桁数の設定パラメータは左図の通りです。

例えば、ある発報条件で、赤：点滅、黄：消灯、緑：点灯、ブザー連続音を行いたい場合は、「20110xx0」と入力します。

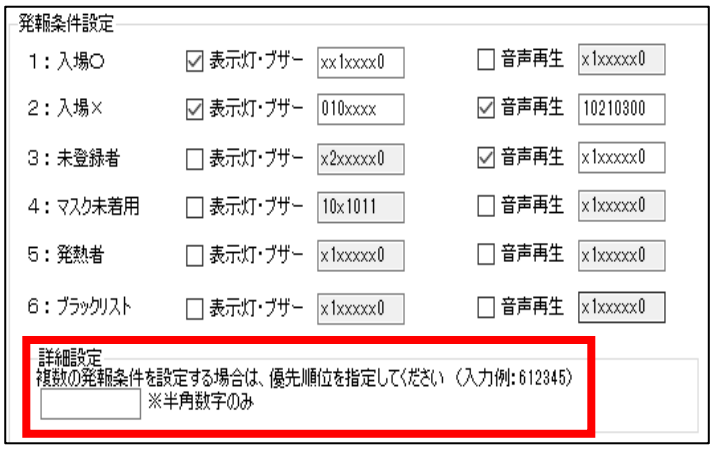
▼「音声再生」の設定値について



⑦.「音声再生」は計 8 桁で設定ができます。各桁数の設定パラメータは左図の通りです。

例えば、ある発報条件で、音声番号:02、リピート 3 回を再生する場合は、「10210300」と入力します。

※音声再生、ブザー音ともに設定されている場合はブザー音が優先されます。音声再生を有効にするには、「表示灯・ブザー」設定の 4,5 行目を「xx」に設定してください。



⑧. 詳細設定では、発報条件を複数設定していた場合に優先順位を設定することができます。

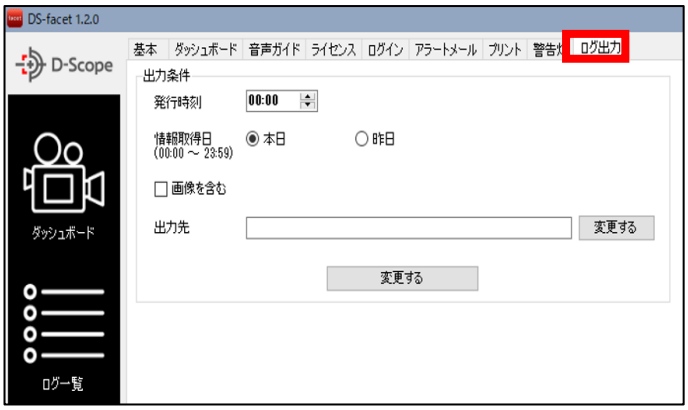
例えば、「未登録者（発報条件:3)」、「マスク未着用（発報条件:4)」の 2 つを発報条件として設定していた場合、未登録者かつマスク未着用の認証が行われた際、「未登録者」の発報条件を実施する場合は「34」、マスク未着用の発報条件を実施する場合は「43」を入力します。

⑨. 設定が完了すれば、「変更する」ボタンを押します。以上で設定は完了です。

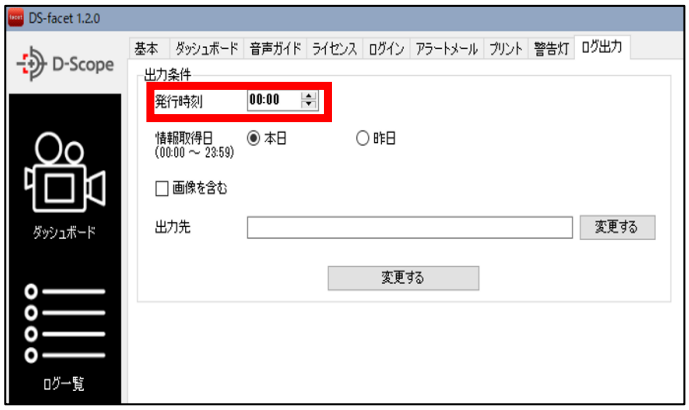
© 2021 DataScope inc.

8.11　ログのバッチ出力機能

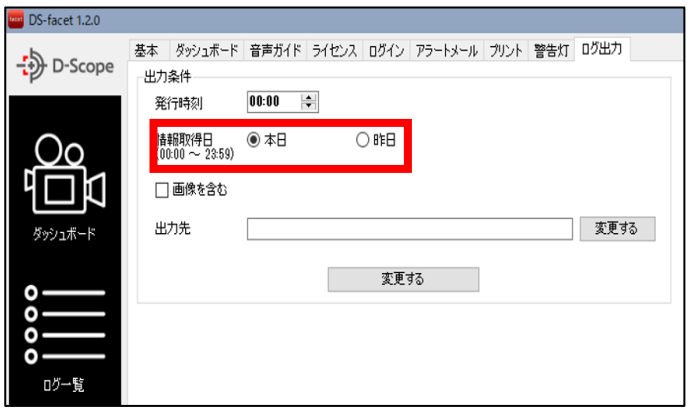
毎日、指定した時間、指定のフォルダに、認証ログを csv ファイルでバッチ出力する機能です。認証時画像も出力することができます。



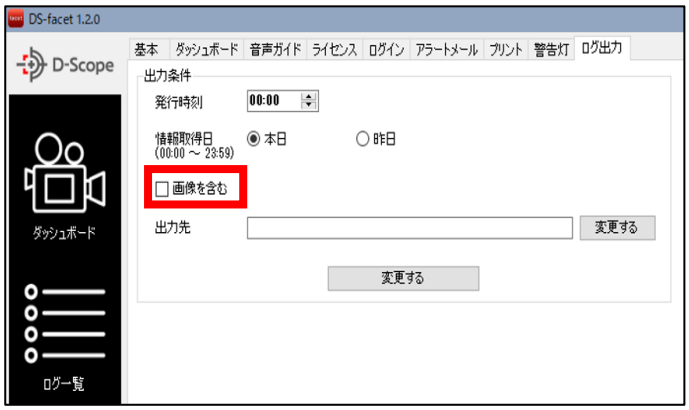
①．左図の赤枠の「ログ出力」タブをクリックすることで、バッチログ出力メニューを開くことができます。



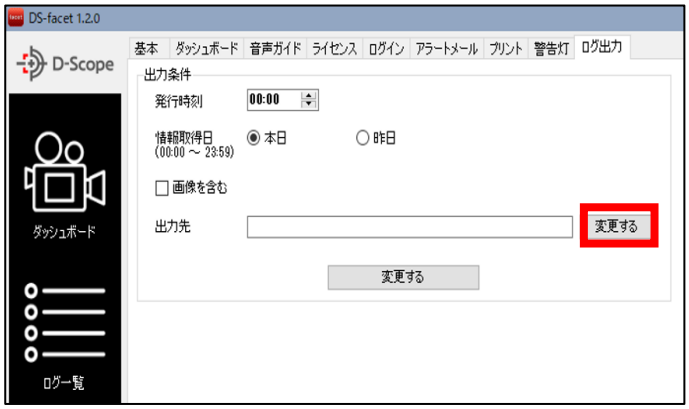
②ログを出力する時間を入力します。



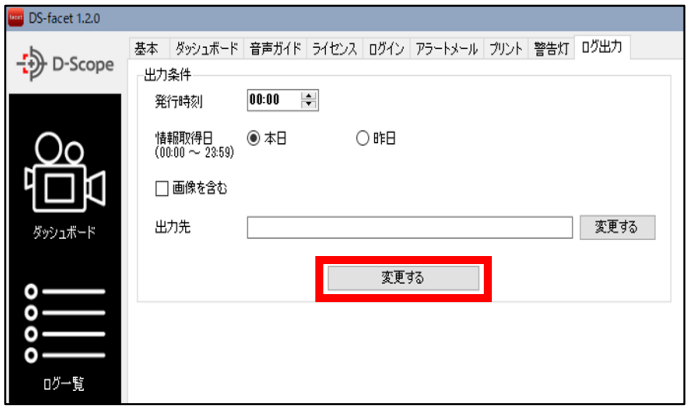
③ログの出力対象を本日分か昨日分か選択します。



④認証時画像を含む場合はチェックを入れます。



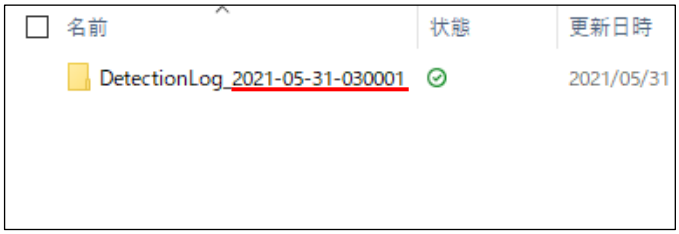
⑤出力するフォルダを選択します。



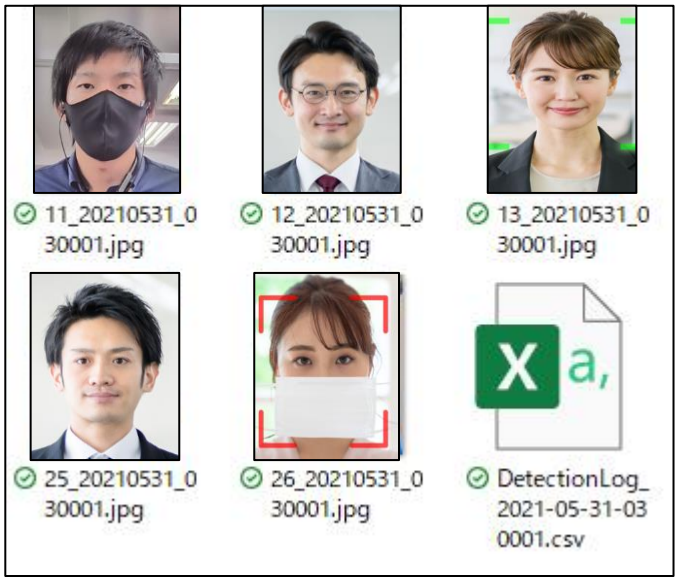
⑥「変更する」を押して完了です。

© 2021 DataScope inc.

指定した時間になると、下記のような csv ファイルと認証時画像が指定したフォルダに生成されます。



①指定したフォルダに、出力された日付と時間を記載したフォルダが生成されます。



②フォルダの中に、バッチ出力された csv ファイルと、認証時画像が出力されます。
※画像は「画像を含む」にチェックを入れた場合のみ

③csv ファイルには下記のような当日分の認証ログが格納されています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	No	シリアル番号	入場	発熱	測定値	マスク	年月日	時刻	ID	氏名	性別	グループ①	グループ②	グループ③	備考	SCORE	Image
2	5	5C07R100034	×	○	36.7	×	2021/5/30	19:20:26	9876	スコープ太郎	男	株式会社デー	技術部	開発室		89.12	5_20210531_030001.jpg
3	6	5C07R100034	○	○	36.5	○	2021/5/30	17:20:33	1234567	スコープ花子	女	株式会社デー	営業部	第一営業課		97.16	6_20210531_030001.jpg
4	7	5C07R100034	×	○	36.9	×	2021/5/30	17:20:14	2468	スコープ次郎	男	株式会社デー	管理部	部長		83.21	7_20210531_030001.jpg
5	8	5C07R100034	○	○	36.7	×	2021/5/30	16:55:39	1234567	スコープ花子	女	株式会社デー	営業部	第一営業課		96.26	8_20210531_030001.jpg

9. こんなときは…

9.1　フリーズする。動作が重くなる。

他の Windows アプリケーションを並行で動作させているとレスポンス低下・フリーズする可能性があります。Facet Plus をご使用の際は、極力他アプリケーションを終了させてご使用ください。

9.2　FaceFC との接続ができない

ネットワーク断などで FaceFC との接続が途切れた場合は、端末設定→基本の「変更する」を押して再度接続をしなおしてください。またそれでも復旧しない場合は、手順 4.2「ログインできないときのポイントメモ」を確認のうえ、原因の切り分けを実施してください。

9.3　特定の異常時だけ音声を出したい

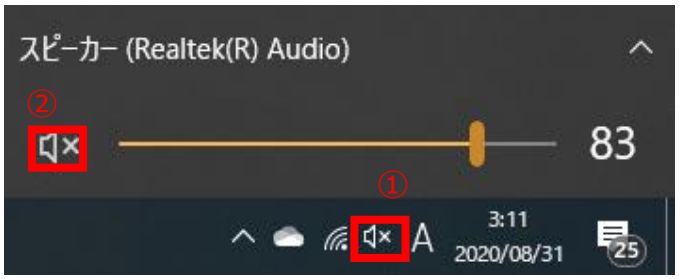
音声ガイドの使用(手順 8.3 の③)を選択することで可能です。例えば、登録者/未登録者に限らず、熱がある人を検出した場合のみ音声を出したい場合は、「認証完了時」「認証不可の時」「マスク未着用時」のチェックを外し、「温度が正常範囲外」のみチェックを行います。

▼熱異常の際だけ発話するチェック例

認証完了時	認証しました	認証しました	☐
認証不可の時	ブロックしました	ブロックしました	☐
体温が正常範囲外	熱があります	熱があります	☑
マスク未着用時	マスクをしていません	マスクをしていません	☐

9.4　音声が出ない

確認 1．PC のスピーカーがミュート設定になっていないか確認してください。



①Windows の右下ステータスバーでスピーカーマークが×になっているときはミュート設定されています。こちらをクリックしてください。
②上部に表示されたスピーカーをクリックして、ミュートを解除します。

確認 2．音声ガイド設定(手順 8.3)の、音声ガイド(手順 8.3①)、使用(手順 8.3③)のチェックが外れていないか、確認してください。

© 2021 DataScope inc.

9.5　登録したブラックリストユーザを確認できない

Facet Plus は登録したブラックリストユーザの確認に対応しておりません。ブラックリストのユーザ確認は、Web 基本ソフトのアラーム管理→アラームイベントからご確認ください。